

## 令和４年度第３８回学習デジタル教材コンクール「文部科学大臣賞」受賞について

児童生徒が学校でも家庭でも日常的にＩＣＴを活用する「ＧＩＧＡスクール時代」の到来により、ＩＣＴを活用する際に必要な情報モラルも多様化し、これまでの情報モラル教育だけでは対応しきれなくなっている。

このことから、令和３年度の総合教育センター長期研修専門研究において、日常的なＩＣＴの活用に合わせて、教科等横断的な視点も踏まえた継続的な情報モラル教育を行うために、小・中・高・特支すべての校種で活用可能な動画教材を中心とした情報モラル育成パッケージ「＃６０秒情報モラル」を開発した。

このパッケージが「第３８回学習デジタル教材コンクール」において最高賞である「文部科学大臣賞」を受賞した。

今後、本パッケージが県内の各学校における授業や校内研修で活用され、児童生徒の情報モラル教育の充実が図られるよう、積極的な広報・普及を行っていく。

### １ 学習デジタル教材コンクール

(1) 主催者等 主催：公益財団法人学習情報研究センター 後援：文部科学省

(2) 事業の概要

学校教育におけるデジタル機器の活用を促進するため、教員その他の教育関係者・団体が作成したデジタル教材を募集し、表彰する事業。

デジタル機器の活用と教育の情報化の進展に貢献することを目的として、優れた作品を広く教育関係者に紹介し、相互利用できるよう情報提供している。

(3) 表彰の種類

文部科学大臣賞、学情研賞、日本児童教育振興財団賞 ほか

### ２ ツールを開発した専門研究の概要 ※所属・職名は、令和３年度当時のもの

(1) 研究領域 情報教育

(2) 研究主題等 ＧＩＧＡスクール時代に求められる児童生徒の情報モラルの育成

ー動画で学べる情報モラル育成パッケージ「＃６０秒情報モラル」の作成とその活用の提言を通してー

(3) 専門研究員（情報教育研究グループ）

|             |    |        |
|-------------|----|--------|
| 富谷市立あけの平小学校 | 教諭 | 佐々木 良彰 |
| 栗原市立金成小中学校  | 教諭 | 山谷 崇文  |
| 気仙沼市立条南中学校  | 教諭 | 及川 竜一  |
| 宮城県石巻西高等学校  | 教諭 | 中村 功   |

(4) 指導主事（情報教育班）

主幹 山下 学，主幹 本郷 直哉，主幹 高橋 裕之

### 3 その他

#### (1) 表彰式

令和4年7月29日（金）に「アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）」において開催予定。

#### (2) 同コンクール受賞履歴

- ・「文部科学大臣賞」（4年連続5回目）
  - 平成28年 「+タブレ」
  - 令和 元年 「プログラミング教育校内研修ナビ」
  - 令和 2年 「+タブレ2.0」
  - 令和 3年 「+タブレ・マネージャー」
  - 令和 4年 「#60秒情報モラル」
- ・「学情研賞」（最高賞「文部科学大臣賞」に次ぐ第2位に相当）
  - 平成27年 「今日の授業タブッ ciao!」
  - 平成29年 「みやぎSNSナビゲーション」
  - 平成30年 「プログラミング教育スタートパック」

# その情報モラル教育 GIGAスクール時代に 対応していますか？



モラル @moraal60

宮城から情報モラル教育について発信しています。

📅2020年4月から1人1台端末を利用しています

19181フォロー中 13フォロワー



フォロー

コメント

履歴と返信

メディア

いいね

★ 固定されたコメント



モラル@moraal60

## 宮城県総合教育センターから情報モラル育成パッケージ「#60秒情報モラル」がリリース！

#60秒情報モラル



ICTリーダー@digitallove

#GIGAスクール時代では#情報モラルは重要な力の1つ。すべての先生が、すべての教科で指導していく必要があります。



情報モラル頑張りたい先生@ganbaruzo

#情報モラル教育の必要性を感じているものの、情報モラルの知識に自信がない！教材研究の時間がない！指導する時間や場がない！そんな先生方が抱える#情報モラル教育の課題を#60秒情報モラルが解決します。



モラル@moraal60

## #60秒情報モラルで児童生徒の情報モラルを育成しましょう！



初学年主任@smlteacher

児童生徒たちが60秒の短い動画を見て、気付いたことを対話しながら学びを深められるところがポイントです！授業など様々な場面で活用することで#日常的・継続的な情報モラル教育を行うことができます。



モラル@moraal60

## 教員向けの指導資料も充実しています！



小学校担任@gtwatashi

活用解説動画で活用のイメージをつかめました。これなら情報モラルの知識に自信がない私でも教材を使って指導ができそう。



中学校6年目@moralnayamibito

指導資料には児童生徒の学びを深める多くのヒントがあります。



モラル@moraal60

## #家庭との連携にも活用できます。



新任先生@teacher2years

児童生徒の情報モラルを育成するには#家庭との連携が欠かせません。#60秒情報モラルを用いることで、保護者と協力して児童生徒の情報モラルを育成するヒントが得られました。



モラル@moraal60

## #60秒情報モラルについてはこちらから！

<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/jouhou/moral60/>

🗨️ 3751

📄 5741

👍 2349



## 急上昇ワード 情報モラル

#情報モラル

**HOT** 学習指導要領で情報活用能力（情報モラルを含む）が学習の基盤となる資質・能力に位置付けられています。

#GIGAスクール時代

**HOT** GIGAスクール構想等により、1人1台端末が整備され、学校でも家庭でも日常的にICTを活用する時代をGIGAスクール時代と「#60秒情報モラル」では捉えています。

#情報モラル教育の必要性

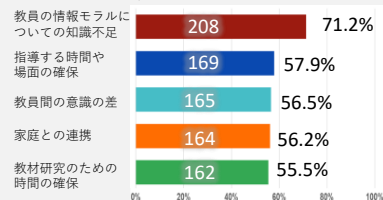
**HOT** 情報モラル教育の必要性について**必要性を感じる教員は**

98.3%

（2021年9月宮城県の教員にアンケートを実施、292人から回答）

#情報モラル教育の課題

**HOT** 情報モラル教育を進めるにあたっての課題（2021年9月宮城県の教員にアンケートを実施、292人から回答）



#日常的・継続的な情報モラル教育

**HOT** 日常的なICTの活用に合わせて、これまでの単発的な情報モラル教育だけではなく、教科等横断的な視点も踏まえた継続的な情報モラル教育が求められます。

#家庭との連携

**HOT** GIGAスクール時代の情報モラル教育は、これまで以上に学校と家庭が同じ目線で連携して取り組むことが重要です。

#60秒情報モラル

**HOT** GIGAスクール時代に対応した情報モラル教育を進めるためのパッケージです。

- ・パッケージの概要や授業での指導、家庭との連携を図るための方法が分かる解説動画セット
- ・動画教材一覧表や動画教材、動画教材解説シートをまとめた動画教材セット

**HOT** ハッシュタグ「#60秒情報モラル」であなたの実践をSNSで発信しよう！

🔍 #60秒情報モラル





協働学習  
するときに  
#60秒情報モラル

キーワード

共同編集  
#セキュリティ  
#情報流出

この動画の活用にあたって

クラウドサービスの中には同時編集が可能なものがあります。効率的に作業できるだけでなく別々の場所においても作業できる良さもあります。しかし、同時に編集するということは、自分の誤操作が他者に影響することでもあります。間違えたときにもあることや、間違ったときはどうするかを考えておくといでしょう。また、必要に応じて共同編集するユーザーや閲覧できるユーザーを限定するなど、アクセス権限を付与する対象を設定して、情報流出や部外者によるデータの改変などを防ぐことも大切でしょう。

動画はこちら



動画の流れ

授業での課題について先生が話している。

先生  
今日は調べてきたことをまとめましょう。

先生  
Cさん

Aさん  
よろしく!

Bさん  
よろしくね!

ごめん。まちがえて消しちゃった!

もう……

グループのメンバーではない他のユーザーがログインしてくる。

他のユーザーにAさんの入力したデータを書きかえられてしまいが、そのままになっている。

そのまま終わりにしていたら、入力した部分が全く違うものに変えられていた。

気付かせたいことこの目安

|                       |                             |                                |   |
|-----------------------|-----------------------------|--------------------------------|---|
| ★(小1~3)               | ★★(小4~6)                    | ★★★(中1~高3)                     | □ 補足・解説<br>◆ StepUp アクティビティ   |
| □ 知らない人が参加した場合は先生に言う。 | □ 間違えて他の人のデータがあるから作業は慎重にする。 | □ 間違えて他の人のデータを消してしまえるようにしておくよ。 | ◆ 共同編集できるソフトを使い、〇〇についてまとめてみよう。  |
| □ 知らない人が参加した場合は先生に言う。 | □ 間違えて他の人のデータがあるから作業は慎重にする。 | □ 間違えて他の人のデータを消してしまえるようにしておくよ。 | ◆ 共同編集ができるソフトの場合、変更履歴があるので、変更履歴をたどって復元するということも可能です。   |
| □ 知らない人が参加した場合は先生に言う。 | □ 間違えて他の人のデータがあるから作業は慎重にする。 | □ 間違えて他の人のデータを消してしまえるようにしておくよ。 | ◆ 共同編集ができるファイルを作成し、共有範囲の種類や設定方法を確認しよう。  |
| □ 知らない人が参加した場合は先生に言う。 | □ 間違えて他の人のデータがあるから作業は慎重にする。 | □ 間違えて他の人のデータを消してしまえるようにしておくよ。 | □ 共同編集ソフトは、リアルタイムで編集することによって、チャットやSNSのような利用ができます。テキストコミュニケーションなどのSNSに関わる情報モラルも意識することが必要でしょう。        |
| □ 他の人のデータは勝手に変えない。    | □ 間違えて他の人のデータがあるから作業は慎重にする。 | □ 間違えて他の人のデータを消してしまえるようにしておくよ。 | □ 編集可能な期限を設定することも大切ですが、必要に応じて共有の設定を見直すことも必要です。また、もとのファイルを変更されないように、情報として見たい場合は、PDFなどに出力することも考えられます。 |



令和4年度公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果について

1 目 的

- (1) 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- (2) 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

2 学力検査の実施教科

国語，社会，数学，理科，英語

3 分析結果

(1) 平均点について

| 教 科 | 国語             | 社会             | 数学             | 理科             | 英語             | 総点               | 受験者数                |
|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|---------------------|
| 平 均 | 58.0<br>(61.2) | 57.3<br>(63.1) | 58.2<br>(47.6) | 58.9<br>(53.2) | 54.7<br>(46.1) | 287.0<br>(271.1) | 13,518人<br>(13,281) |

※数値は、全日制課程受験者の値

※（ ）は昨年度の値

(2) 得点分布

別冊3～4ページに記載のとおり

(3) 各教科の概況

全日制課程の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50学科を抽出、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人の答案を抽出し、教科ごと、小問ごとにその状況を分析考察した。

| 教科 | 概 況   |
|----|---|
| 国語 | 話すこと・聞くことに関する事項については知識が定着しているが、論理的な文章の構成や展開を考え全体の要旨を把握する力や、本文の叙述に即して、適切に表現する力に課題が見られた。      |
| 社会 | 個々の資料から情報を読み取る力は身に付いているが、資料から得た情報と既習の知識を結び付けて事象を考察する力や、歴史的事象の時期や推移に着目して歴史の流れを理解する力に課題が見られた。 |
| 数学 | 計算についての基礎的・基本的な知識・技能の定着は見られるものの、事象を的確に捉え、数学的に表現し考察する力、論理的に筋道を立てて表現する力に課題が見られた。              |
| 理科 | 基礎的・基本的な知識を活用する問題において、得点率が低いものが複数見られた。観察、実験の条件を的確に捉えて結果を分析・解釈し、それらを基に思考、判断し、表現する力に課題が見られた。  |
| 英語 | 短い会話を理解したり文章の内容をおおまかに理解したりする力は身に付いてきているが、まとまった量の英文の内容を正確に理解したり、必要な情報を探し出したりする力に課題が見られた。     |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 各教科<br>共通<br>(得点率・<br>無答率) | 基礎的な知識や基本的な技能を問う問題の正答率が高い。一方で、与えられた情報や結果を、既習知識等と結び付けて考察する問題や、論理的に表現する力が求められる問題においては、正答率・得点率が低く、無答率も高い傾向を示している。 |
|----------------------------|--|

※無答率：解答欄が空白であったものの割合

令和4年度

公立高等学校入学者選抜  
学力検査の分析結果

宮城県教育委員会





## ま え が き

本報告は、令和4年度宮城県公立高等学校入学者選抜における第一次募集本試験（令和4年3月4日実施）の結果について、分析及び考察を示したものです。

公立高等学校の入学者選抜学力検査問題については、これまでも、入学者の選抜に際し極めて重要な資料となることから、中学校学習指導要領の趣旨に即し、その実現に資する出題内容となっているか、中学校で身に付けるべき学力の定着状況を適切に測ることができているかなど、継続的な調査研究に取り組み、出題方法の工夫や改善に努めているところです。

特に、入学者選抜学力検査は、中学校3年間の学習の最終的な定着状況を測ることができるものでもあり、その点からも、中学校の授業改善にとって有用な情報を蔵するものとして、当該検査の分析には大きな意味があります。

教育委員会では、その観点を踏まえ、次の二点を目的として分析及び考察を進めました。

- 1 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- 2 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

一方、高等学校にとっても、入学生の学びが中学校から円滑に接続できるように指導を工夫するなどのために、本分析は必要な基礎データを提供しうるものと考えられます。

中学校及び高等学校においては、生徒がこれからの社会に求められる学力を確実に身に付けられるよう指導の工夫・改善に取り組んでいるところですが、本分析が各校で積極的に活用されることで、中学生及び高校生にとって、有意義で、豊かな学びに繋がることを切に期待しています。

令和4年7月

宮城県教育委員会教育長 伊 東 昭 代

# 目 次

|     |                  |    |
|-----|------------------|----|
| I   | 受験状況             | 3  |
| II  | 出題の基本方針          | 3  |
| III | 学力検査の結果（全日制受験者）  |    |
| 1   | 総点               | 3  |
| 2   | 各教科の成績           | 3  |
| 3   | 各教科の得点分布         | 4  |
| IV  | 各教科の分析           |    |
| 1   | 標本の抽出            | 4  |
| 2   | 分析の方法            | 4  |
| 3   | 各教科の分析結果の概況      | 5  |
|     | (1) 社会           |    |
|     | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 6  |
|     | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 8  |
|     | ・問題              | 9  |
|     | ・正答と配点           | 17 |
|     | (2) 数学           |    |
|     | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 18 |
|     | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 20 |
|     | ・問題              | 21 |
|     | ・正答と配点           | 29 |
|     | (3) 理科           |    |
|     | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 30 |
|     | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 32 |
|     | ・問題              | 33 |
|     | ・正答と配点           | 41 |
|     | (4) 英語           |    |
|     | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 42 |
|     | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 44 |
|     | ・問題              | 45 |
|     | ・「放送によるテスト」台本    | 54 |
|     | ・正答と配点           | 57 |
|     | (5) 国語           |    |
|     | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 58 |
|     | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 60 |
|     | ・正答と配点           | 62 |
|     | ・問題              | 63 |

※ (5)「国語」については、『問題』を右から左に進む向きに頁割付するため、『問題』と『正答と配点』の掲載順を他教科とは逆にしている。

## I 受験状況

表1に今年度及び前年度の学力検査の全教科受験者数を示す。

表1 年度別学力検査受験者数

| 年度   | 全日制    | 定時制 | 計      |
|------|--------|-----|--------|
| 令和4年 | 13,518 | 310 | 13,828 |
| 令和3年 | 13,281 | 344 | 13,625 |

## II 出題の基本方針

中学校学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、基礎・基本を重視し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を総合的にみることをねらいとした。

また、各教科とも履修学年や分野・領域、難易度のバランス、問題の分量について配慮し、受験生の多様な力を的確に捉えることができるように工夫した。

## III 学力検査の結果（全日制受験者）

### 1 総点

全教科受験者の総点について、表2に度数分布表を、図1に相対度数分布図を示す。

表2 総点の度数分布表

| 得点区分    | 令和4年度  |       | 令和3年度 |
|---------|--------|-------|-------|
|         | 人数     | 割合(%) | 割合(%) |
| 0～100   | 363    | 2.7   | 2.2   |
| 101～150 | 1,046  | 7.7   | 9.5   |
| 151～200 | 1,542  | 11.4  | 14.9  |
| 201～250 | 1,920  | 14.2  | 16.6  |
| 251～300 | 2,150  | 15.9  | 17.3  |
| 301～350 | 2,332  | 17.3  | 16.0  |
| 351～400 | 2,295  | 17.0  | 13.2  |
| 401～450 | 1,704  | 12.6  | 9.3   |
| 451～500 | 166    | 1.2   | 1.0   |
| 計       | 13,518 | 100.0 | 100.0 |

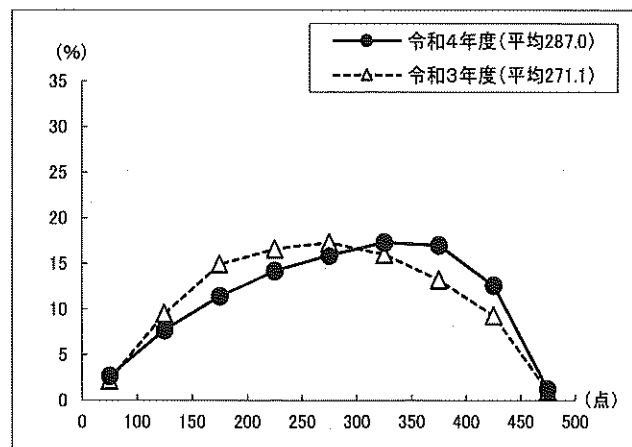


図1 総点の相対度数分布図

## 2 各教科の成績

表3に各教科の受験者の平均点等と、合格者の平均点を示す。

表3 各教科の平均点等

| 区分    |     | 国語             | 社会             | 数学             | 理科             | 英語             | 総点               |
|-------|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| 受験者   | 平均  | 58.0<br>(61.2) | 57.3<br>(63.1) | 58.2<br>(47.6) | 58.9<br>(53.2) | 54.7<br>(46.1) | 287.0<br>(271.1) |
|       | 最高  | 97             | 100            | 100            | 100            | 100            | 483              |
|       | 最低  | 0              | 3              | 0              | 3              | 0              | 32               |
|       | 中央値 | 60             | 58             | 62             | 61             | 55             | 295              |
|       | 最頻値 | 66             | 52             | 89             | 70             | 82             | 313              |
| 合格者平均 |     | 58.1           | 57.2           | 58.2           | 59.0           | 54.6           | 287.2            |

( )内は前年度の平均点

### 3 各教科の得点分布

今年度及び前年度の国語、社会、数学、理科、英語の得点の相対度数分布図を、以下に示す。

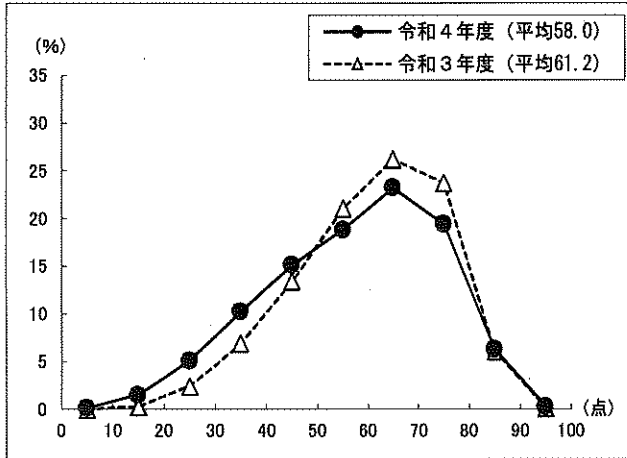


図2 国語

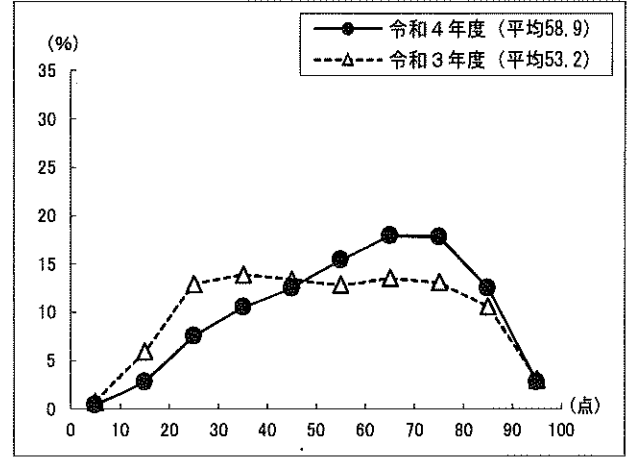


図5 理科

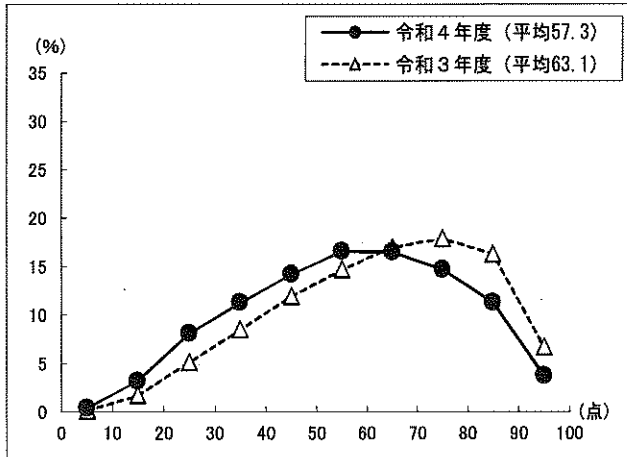


図3 社会

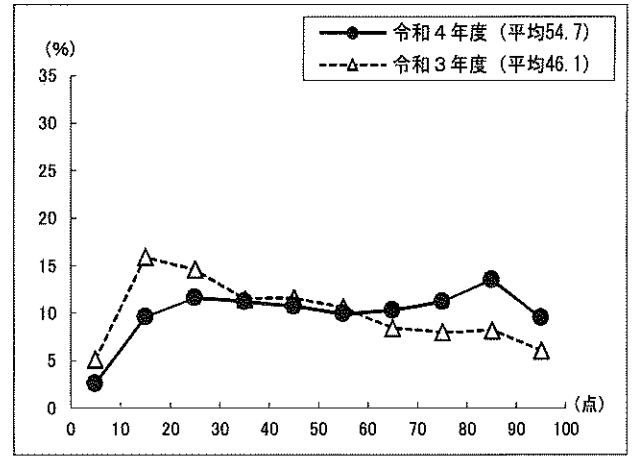


図6 英語

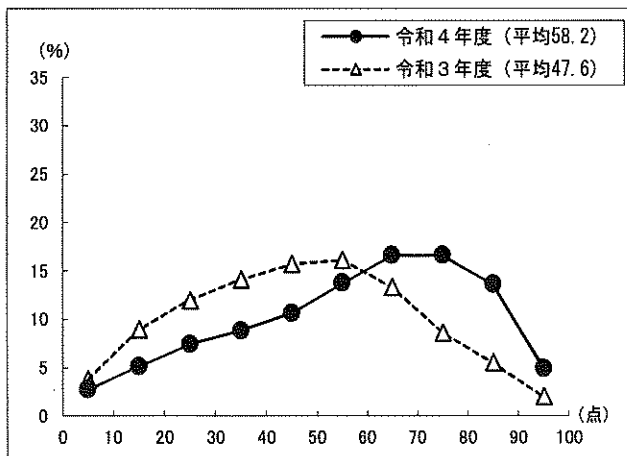


図4 数学

### IV 各教科の分析

#### 1 標本の抽出

分析等の調査は、抽出した標本によって行った。  
標本については、まず全日制の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50学科を抽出し、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人を抽出し標本とした。

#### 2 分析の方法

小問ごとに正答率（完全正答の割合）、無答率を算出し、得点率（配点に対する平均点の割合）も算出した。加えて、標本を調査書総点を基に三つの階層に分け、それぞれの階層別の得点率も算出した。さらに、誤答例・誤答傾向について、できるだけ詳細に取り上げ、分析を行った。

### 3 各教科の分析結果の概況

**国語** 平均点 58.0点 (前年度比 -3.2)

文章を構造的に捉える力、叙述に基づいて文章の内容や展開を捉え、適切に表現する力に課題

#### 学びの成果

- ・ 話すこと・聞くこと及び言葉の特徴や使い方に関する事項は基礎的な知識が定着している。
- ・ 表現技法と、それによってもたらされる効果について捉える力は身に付いている。

#### 課題

- ・ 文章を構造的に捉え、文章全体の要旨を把握する力が不十分である。
- ・ 文章の構成や展開を考え、そこから導き出したことを叙述に基づいて適切に表現する力に課題がある。

#### 授業づくりのポイント

- ・ 段落ごとの内容や段落相互の関係を捉えるなど、情報を整理して読む学習活動を取り入れる。
- ・ 言葉による見方・考え方を働かせ、文章の構成や展開の仕方を考える学習活動を通して、内容を的確に捉え、適切に表現する力を育成する。

**社会** 平均点 57.3点 (前年度比 -5.8)

歴史の流れを理解する力、情報を既習の知識と結び付けて考察する力に課題

#### 学びの成果

- ・ 標高と気温の関係に関する基礎的な知識が定着している。
- ・ 個々の資料から情報を読み取る力が身に付いている。

#### 課題

- ・ 歴史的事象の時期や推移に着目して歴史の流れを理解する力が不十分である。
- ・ 資料から読み取った情報を既習の知識と結び付けて考察する力に課題がある。

#### 授業づくりのポイント

- ・ 年表等の作成・活用などにより、歴史の流れを適切に押さえながら、因果関係や社会の変化などの学習を通して時代の特色を捉える指導を工夫する。
- ・ 社会的な事象を多面的、総合的に考察する経験を充実させる。

**数学** 平均点 58.2点 (前年度比 +10.6)

事象を的確に捉え、数学的に表現し考察する力、論理的に表現する力に課題

#### 学びの成果

- ・ 数と式の計算についての基礎的・基本的な知識・技能は定着している。

#### 課題

- ・ 図形を正しく捉え考察する力、数量の関係を整理して方程式を立式し処理する力、情報を正

しく理解し的確に表現・考察する力、論理的に筋道を立てて表現する力に課題がある。

#### 授業づくりのポイント

- ・ ICTを活用して図形を提示する、数量を表や線分図で表した上で立式させるなど、生徒が図形や数量の関係をイメージしやすくなるような工夫をする。
- ・ 日常的な事象を扱う場面で、 $x$ の変域を意識して式やグラフで表現する活動を取り入れる。
- ・ 協働的な学びの中で、根拠を明らかにして説明することを意識させた活動を取り入れる。

**理科** 平均点 58.9点 (前年度比 +5.7)

観察、実験の結果を分析して解釈し、それを基に思考し判断する力、考えを表現する力に課題

#### 学びの成果

- ・ データをグラフ化するなど、分析に必要な技能が身に付いている。
- ・ 単一条件の観察、実験結果では、基本的な知識及び技能を基に、適切な考察ができています。

#### 課題

- ・ 観察、実験結果を分析して解釈する際に、条件が変化した場合の影響を考慮する力に課題がある。
- ・ 基本的な知識や考察した内容を活用し、問題の解決方法を立案する力に課題がある。

#### 授業づくりのポイント

- ・ モデル実験やICTを積極的に活用するなど、可視化する工夫を積極的に取り入れる。
- ・ 課題解決への見通しをもって探究活動を行い、仮説と関連付けて解決方法を立案する機会を充実させる。

**英語** 平均点 54.7点 (前年度比 +8.6)

英語を聞いて概要や要点を捉える力、英文の内容を正確に捉える力に課題

#### 学びの成果

- ・ 短い会話を聞いて質問に対し適切に応答する力は身に付いてきている。
- ・ まとまった量の英文を読んで内容を大まかに捉えることはできている。

#### 課題

- ・ 英語を聞いて情報を正確に聞き取る力が十分に身に付いていない。
- ・ まとまった量の英文を読み、全体の要旨や大切な部分を的確に捉えることに課題がある。

#### 授業づくりのポイント

- ・ CAN-DOリストを活用しながら、身に付けさせたい力に応じた適切な言語活動を行う。
- ・ 英語を正確に理解するために必要となる基本的事項に、様々な言語活動の中で習熟させる。
- ・ 聞いたり読んだりしたことについて英語で説明するなど、技能統合型の活動を取り入れる。

1 出題のねらいと内容

地理、歴史及び公民に関する知識、調査や資料から情報を読み取りまとめる技能並びに社会的事象等の意味や相互関係について多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、「民主政治の成り立ち」を題材とし、民主政治の来歴とその基本となる考え方に関する知識及び資料を基に考察する力をみようとしました。

第二問では、「九州地方の農業」を題材とし、地理に関する知識、資料から情報を読み取る技能及び宮崎県における農業と自然環境・社会情勢との関わりについて、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとしました。

第三問では、「みそとしょうゆの歴史」を題材とし、古代から近世までの歴史に関する知識及び江戸時代のしょうゆの生産と輸送の変化に

ついて、資料を基に考察し、適切に表現する力をみようとしました。

第四問では、「科学技術の発展と社会の変化」を題材とし、政治、経済に関する知識及びオンライン診療の利点と課題について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとしました。

第五問では、「南アメリカ州の人々の生活と文化」を題材とし、地理や近代の歴史に関する知識及びブラジルの食文化の背景となる歴史的事象について、資料を基に考察し、適切に表現する力をみようとしました。

第六問では、「国際問題と日本の国際貢献」を題材とし、公民や現代の歴史に関する知識及び市民参加による日本の国際貢献のあり方について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとしました。

2 結果の考察

<第一問> 歴史的分野を中心とする公民的分野との融合問題

民主政治の成立過程の理解に課題

3 (1) 正答率が31.5%にとどまり、誤答もおおむね偏りなく分散しており、民主政治の成立過程の理解に課題があると考えられる。民主政治に関わる事象を年表に整理し、事象間の関係を考察するなど、民主政治の成立過程を時代の流れの中に適切に位置付けながら理解させたい。

3 (2) c層の正答率が28.3%であり、c層は自由権の基礎的知識の定着に課題があることがうかがえる。生徒にとって身近で、自分に関わる問題として実感できる具体的事例を扱う

などにより、人権の基礎的な知識に係る理解を定着させたい。

<第二問> 地理的分野の問題

資料から読み取れることを既習の知識と関連付け、論理的に表現する力に課題

2 (1) 誤答の56.1%はウを選択しており、宮崎県で促成栽培が盛んであるという知識は身に付いているが、それが具体的にどのようなことかという理解が伴っていないものと考えられる。地理的用語を単に覚えるということにとどまらず、それがどのように気候や産業などに関わっているか説明させるなど、活用できる生きた知識として身に付けさせたい。

2 (2) 得点率は52.7%であった。個々の資料の読み取りはできているが、資料DとFを関連付けて輸入品との競争力を高めるという結論までに至らないものが多かった。資料から読み取れることを既習の知識と関連付け、論理的に表現する力の育成を図りたい。

#### <第三問> 歴史的分野の問題

事象の時系列を押さえて時代の特色を捉え、歴史の流れを理解する力に課題

- 3 正答率は42.8%であった。誤答が分散したことから、元寇と建武の新政、南北朝の統一をそれぞれ関連付けて理解する力が不十分であったことがうかがえる。時期や年代などの時系列を確実に押さえながら、事象の因果関係や社会の変化に着目させるなどの学習を通し、歴史の流れを的確に理解させたい。
- 4 c層の正答率が19.6%にとどまるとともに、c層の約7割がウとエを選択した。経済や交通の発達を踏まえながら、文化の担い手の変化に着目させるなど、元禄文化との比較を通して、江戸時代の文化を多面的に考察させるなどの工夫が望まれる。

#### <第四問> 公民的分野の問題

複数の資料を関連付け、適切に表現する力に課題

- 1 (3) c層の得点率が25.4%であった。c層は公正という語句を使っていない誤答が多く、公正な取引とはどういうものかの理解が不十分だと考えられる。小売店のロールプレイを用いるなどの工夫により、公正な取引の必要性について理解を深めさせ、公正な社会をつくる市民としての意識を育むよう努めたい。
- 3 得点率が74.3%であった。誤答では、オンライン診療の利点を読み取ることはできたも

のの、資料Dと資料Eを関連付けてオンライン診療の課題を表現するには至らないものが多かった。複数の資料を関連付け、適切に表現する力の育成が依然として課題である。

#### <第五問> 地理的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

資料から読み取った情報を歴史的事象の既習の知識と結び付けて考察する力に課題

- 1 (2) 正答率が68.3%であった。誤答の34.1%は高山都市の判別はできており、標高と気温の関係についての基礎的な知識が定着していると考えられる。
- 2 (2) 得点率29.2%は論述問題の中で最も低かった。問われている歴史的背景を論述していないものが多く、資料から読み取った情報を歴史的分野で身に付けた知識と結び付けて考察できなかったと考えられる。社会的な事象を様々な分野から多面的、総合的に考察する経験を充実させたい。

#### <第六問> 公民的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

資料活用に係る基本的な技能に課題

- 4 (1) 正答率が49.5%であった。誤答の71.2%はイを選択しており、資料の数値を的確に処理できなかったものと考えられる。表やグラフの活用に際して、資料の数値を的確に操作するなど、資料活用に係る基本的技能の育成に一層留意したい。
- 4 (2) 得点率は34.3%で、多くは資料Dを活用して活動地域への効果を考察することができなかった。貧困の解消に向けた取組を扱うなど、国際貢献における、持続的な発展の視点を持たせるような学習の工夫を図りたい。



| 問題        |         |              | 正答率 → | ← 無答率 | 得点率   | 調査書総点別得点率<br>(a:135~111点 b:110~88点 c:87~44点) |                                |
|-----------|---------|--------------|-------|-------|-------|--|--------------------------------|
| 第一問       | 1       | 多肢選択 歴史      | 85.8% | 0.0%  | 85.8% | a:97.4%<br>b:89.0%<br>c:72.5%                |                                |
|           | 2       | 多肢選択 歴史・公民   | 63.5% | 0.0%  | 63.5% | a:73.3%<br>b:61.0%<br>c:58.0%                |                                |
|           | 3       | (1) 多肢選択 歴史  | 31.5% |       | 0.3%  | 31.5%  | a:47.4%<br>b:30.8%<br>c:18.8%  |
|           |         | (2) 多肢選択 公民  | 53.0% |       | 0.0%  | 53.0%  | a:77.6%<br>b:56.9%<br>c:28.3%  |
| 4         | 多肢選択 公民 | 72.8%        |       | 0.0%  | 72.8% | a:85.9%<br>b:81.5%<br>c:52.9%                |                                |
| 第二問       | 1       | (1) 語句記述 地理  | 28.8% |       | 10.5% | 34.8%  | a:65.5%<br>b:31.7%<br>c:12.3%  |
|           |         | (2) 多肢選択 地理  | 61.8% |       | 0.0%  | 61.8%  | a:78.5%<br>b:61.0%<br>c:48.6%  |
|           |         | (3) 多肢選択 地理  | 64.5% |       | 0.0%  | 64.5%  | a:85.3%<br>b:64.4%<br>c:47.1%  |
|           | 2       | (1) 多肢選択 地理  | 46.3% |       | 0.3%  | 46.3%  | a:68.1%<br>b:48.0%<br>c:26.1%  |
|           |         | (2) 論述 地理    | 22.5% |       | 4.0%  | 52.7%  | a:72.8%<br>b:54.4%<br>c:39.9%  |
| 第三問       | 1       | 語句記述 歴史      | 49.5% |       | 11.5% | 57.8%  | a:85.6%<br>b:62.1%<br>c:30.0%  |
|           | 2       | 多肢選択 歴史      | 54.8% |       | 0.3%  | 54.8%  | a:70.7%<br>b:54.8%<br>c:41.3%  |
|           | 3       | 並べ替え 歴史      | 42.8% |       | 0.0%  | 42.8%  | a:59.5%<br>b:39.7%<br>c:31.9%  |
|           | 4       | 多肢選択 歴史      | 48.3% |       | 0.5%  | 48.3%  | a:76.7%<br>b:52.7%<br>c:19.6%  |
|           | 6       | 論述 歴史        | 19.5% |       | 4.3%  | 45.8%  | a:67.2%<br>b:44.9%<br>c:28.7%  |
| 第四問       | 1       | (1) 多肢選択 公民  | 86.5% |       | 0.0%  | 86.5%  | a:94.0%<br>b:87.7%<br>c:79.0%  |
|           |         | (2) 多肢選択 公民  | 92.5% |       | 0.0%  | 92.5%  | a:100.0%<br>b:95.8%<br>c:82.6% |
|           |         | (3) 語句記述 公民  | 55.8% |       | 12.8% | 57.3%  | a:94.5%<br>b:58.0%<br>c:25.4%  |
|           | 2       | 多肢選択 公民      | 75.5% |       | 0.8%  | 75.5%  | a:93.1%<br>b:77.4%<br>c:58.7%  |
| 3         | 論述 公民   | 46.0%        |       | 2.8%  | 74.3% | a:86.4%<br>b:76.2%<br>c:62.2%                |                                |
| 第五問       | 1       | (1) 語句記述 地理  | 59.5% |       | 11.3% | 59.5%  | a:88.8%<br>b:60.3%<br>c:34.1%  |
|           |         | (2) 多肢選択 地理  | 68.3% |       | 0.3%  | 68.3%  | a:87.1%<br>b:69.2%<br>c:51.5%  |
|           | 2       | (1) 多肢選択 歴史  | 44.3% |       | 0.5%  | 44.3%  | a:67.2%<br>b:41.8%<br>c:27.5%  |
|           |         | (2) 論述 地理・歴史 | 8.8%  |       | 8.0%  | 29.2%  | a:46.7%<br>b:30.3%<br>c:13.3%  |
|           | 3       | 多肢選択 地理・公民   | 61.8% |       | 0.0%  | 61.8%  | a:75.0%<br>b:68.5%<br>c:43.5%  |
| 第六問       | 1       | 並べ替え 歴史      | 46.8% |       | 0.0%  | 46.8%  | a:56.0%<br>b:46.6%<br>c:39.1%  |
|           | 2       | 語句記述 公民      | 19.3% |       | 8.0%  | 19.3%  | a:37.1%<br>b:15.1%<br>c:8.7%   |
|           | 3       | 多肢選択 公民      | 65.5% |       | 0.0%  | 65.5%  | a:87.9%<br>b:65.1%<br>c:47.1%  |
|           | 4       | (1) 多肢選択 公民  | 49.5% |       | 1.0%  | 49.5%  | a:81.9%<br>b:50.0%<br>c:21.7%  |
| (2) 論述 公民 |         | 14.0%        |       | 12.0% | 34.3% | a:45.7%<br>b:36.9%<br>c:21.9%                |                                |
| 計         |         |              |       |       | 55.1% | a:74.0%<br>b:56.2%<br>c:38.2%                |                                |

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

令和4年度  
公立高等学校入学者選抜学力検査問題  
社 会

第一問 民主政治の成り立ちについて、資料Aを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 民主政治の成り立ち

紀元前5世紀頃、のアテネなどの都市国家では市民による政治が行われており、これが民主政治の起源とされます。しかし、<sup>どれい</sup>奴隷制のうえに成り立っていたことなど、古代の民主政治には、現代の民主政治とは異なる面がありました。②17世紀から18世紀に欧米諸国で起こった革命を経て、③民主政治は、基本的な人権の尊重などの原理と結びついて発達し、世界に広がっていきました。また、現代では、多くの民主主義国家が、間接民主制を採用しつつ、④直接民主制の考え方を一部取り入れた政治を行っています。

1 にあてはまる地名として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
ア インド                      イ エジプト                      ウ イラク                      エ ギリシャ

2 下線部②について、資料Bは、フランス革命のときに発表された人権宣言の一部です。人権宣言の内容に影響を与えたフランスの思想家を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ルソー                      イ ロック                      ウ マルクス                      エ ナポレオン

資料B 人権宣言の一部

第3条

あらゆる主権の原理は、本質的に国民に存する。(以下略)

3 下線部③について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 民主主義を求める動きが高まりをみせていた、大正時代の日本のできごとについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 自由民権運動が始まった。                      イ 大日本帝国憲法が制定された。  
ウ 選挙権が男女に等しく認められた。                      エ 初の本格的な政党内閣が成立した。

(2) 日本国憲法が保障する基本的人権のうち、自由権に含まれる権利を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。


ア 参政権                      イ 生存権                      ウ 財産権                      エ 裁判を受ける権利

4 下線部④について、日本の政治において、直接民主制の考え方が取り入れられているものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 憲法改正の発議                      イ 最高裁判所裁判官に対する国民審査  
ウ 内閣総理大臣の指名                      エ 裁判官に対する弾劾裁判

第二問 光一さんは、社会科の授業で、「九州地方の農業」について調べました。次の1, 2の問いに答えなさい。

1 光一さんは、九州地方の自然環境と農業について、地域ごとの特色を調べるため、略地図を準備しました。次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

(1) 略地図中に  で示した平野では、米の生産がさかんです。福岡県と佐賀県にまたがって広がる、この平野の名称を書きなさい。

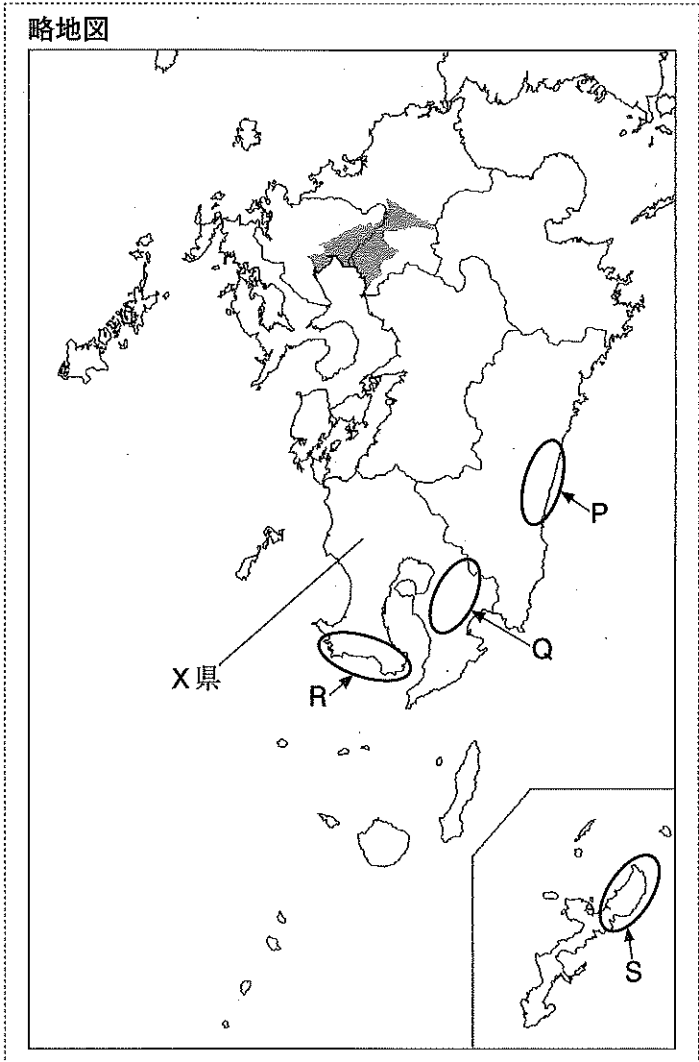
(2) 略地図中に示した、P~Sの地域それぞれにおいて、広くみられる地形や土壌について説明した文として、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア Pの地域には、海の近くまで続く険しい山地と、複雑に入り組んだりアス海岸が、広範囲にわたってみられる。

イ Qの地域には、火山活動にともなう噴出物が積み重なってできた、シラスとよばれる、水はけのよい灰白色の土の層が広がっている。

ウ Rの地域には、河川が運んだ、粒の細かな土が堆積してできた大規模な三角州が、河口に向かって広がっている。

エ Sの地域には、火山の噴火にともなう陥没<sup>かんぼつ</sup>などによってできた、カルデラとよばれる、大きくくぼんだ地形がみられる。



(3) 光一さんは、九州地方の各県で生産されるおもな農産物について調べ、資料Aを作成しました。資料Aは、九州地方の各県の農産物産出額上位4品目をまとめたものです。略地図中のX県を示すものを、資料A中の  ~  から1つ選び、記号で答えなさい。

資料A 九州地方の各県の農産物産出額上位4品目 (2019年)

|                    | 福岡県          | 佐賀県           | 熊本県          | 宮崎県            | <input type="text" value="ア"/> | <input type="text" value="イ"/> | <input type="text" value="ウ"/> | <input type="text" value="エ"/> |
|--------------------|--------------|---------------|--------------|----------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 品目<br>〔金額〕<br>〔億円〕 | 米<br>〔376〕   | 肉用牛<br>〔163〕  | 肉用牛<br>〔427〕 | 肉用牛<br>〔780〕   | 肉用牛<br>〔239〕                   | 米<br>〔210〕                     | 肉用牛<br>〔1278〕                  | 肉用牛<br>〔254〕                   |
|                    | いちご<br>〔220〕 | 米<br>〔155〕    | トマト<br>〔408〕 | プロイラー<br>〔687〕 | さとうきび<br>〔152〕                 | 肉用牛<br>〔152〕                   | 豚<br>〔847〕                     | 豚<br>〔127〕                     |
|                    | 鶏卵<br>〔111〕  | みかん<br>〔136〕  | 米<br>〔368〕   | 豚<br>〔521〕     | 豚<br>〔132〕                     | 豚<br>〔83〕                      | プロイラー<br>〔695〕                 | いちご<br>〔119〕                   |
|                    | 生乳<br>〔82〕   | プロイラー<br>〔92〕 | 生乳<br>〔276〕  | きゅうり<br>〔178〕  | きく(切り花)<br>〔70〕                | 生乳<br>〔76〕                     | 鶏卵<br>〔263〕                    | みかん<br>〔118〕                   |

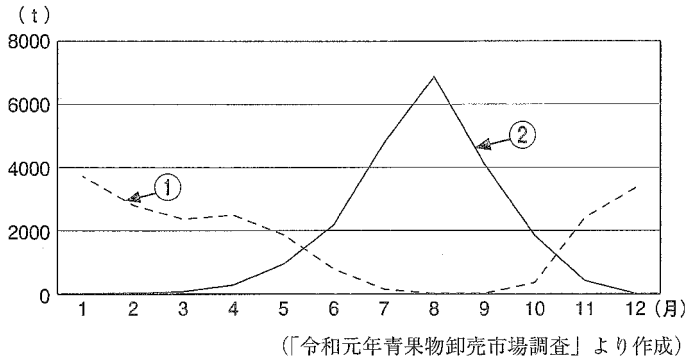
(注) プロイラーとは、食肉用鶏の一品種である。また、数字は四捨五入している。

(「令和元年生産農業所得統計」より作成)

2 光一さんは、宮崎県の農産物産出額が、第二次世界大戦後に大きく伸びていることを知り、宮崎県の農業に着目して、調べを進めました。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 光一さんは、宮崎県産のきゅうりが関東地方に多く出荷されていることを知り、宮崎県と同様に関東地方へのきゅうりの出荷量が多い福島県と比較するために、関東地方への月別の卸売数量を調べ、資料B、Cを作成しました。資料C中の **a** にあてはまる記号と、**b** にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 宮崎県産と福島県産のきゅうりの関東地方への月別卸売数量 (2019年)



資料C 宮崎県のきゅうり生産の特徴

資料B中の、関東地方に出荷された宮崎県産のきゅうりの卸売数量を示した **a** のグラフをみると、卸売数量が最も多くなる時期が、福島県とは異なることがわかります。これは、宮崎県の気候の特徴を生かした **b** を取り入れることで、出荷時期の調整が行われているからです。

- ア a - ①      b - 促成栽培  
 イ a - ①      b - 抑制栽培  
 ウ a - ②      b - 促成栽培  
 エ a - ②      b - 抑制栽培

(2) 光一さんは、宮崎県が、自然環境や農業を取りまく情勢の変化に対応した農業計画を策定し、その実現に向けて取り組んできたことを知り、資料D～Fを作成しました。宮崎県が策定した農業計画には、どのようなねらいがあったと考えられるか、資料D～Fを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料D 宮崎県が策定した農業計画の内容の一部

- ・宮崎県防災営農計画 (1960年)  
 早期に収穫できる水稲、施設を利用する園芸農業、畜産を導入し、定着を図る。
- ・第四次農業振興長期計画 (1991年)  
 宮崎牛などのみやざきブランドを確立する。

(「みやざき新農業創造プラン」などより作成)

資料E 台風による宮崎県の被害

- 宮崎県では、1945年から1960年のあいだに、台風の影響による大きな災害が6回起こった。
- 1954年9月の台風12号による豪雨災害では、約1万3,700haの田畑が、流失したり、埋没したりした。

(「九州災害履歴情報データベース」などより作成)

資料F 牛肉の国内生産量と輸入量

著作権の関係で  
 掲載しておりません。

(「数字でみる日本の100年 改訂第7版」より作成)

第三問 京子さんは、社会科の授業で、「みそとしょうゆの歴史」について調べました。資料Aは、京子さんが調べたことをまとめたものの一部です。これをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

資料A みそとしょうゆの歴史

| みそとしょうゆの起源  | みその広まり   | しょうゆの広まり  |
|---|--|---|
| 古代中国でつくられている醬が、みそとしょうゆの起源とされる。日本では、①飛鳥時代には、醬がつくられていたと考えられている。 | ②農業生産力が向上した鎌倉時代に、原料の大豆の生産量が増えた。③中世のあいだに、戦いときの携帯食としての利用が広がり、みそ汁も普及した。 | ④江戸時代にそばなどの庶民の料理が発展し、しょうゆの需要が高まった。⑤大量に生産されたしょうゆが各地に運ばれ、流通が拡大した。 |

1 下線部①について、この時代の日本では、中国・朝鮮の文化を取り入れ、政治制度が整備されました。家がらによらず有能な人材を採用するために、7世紀初めに、役人の序列を定めた制度を何というか、書きなさい。

2 下線部②について、この時代の農業の特徴を述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 大陸から鉄器が伝わり、鉄の刃先をつけた農具が使われはじめた。
- イ 農具の改良が行われ、千歯こきや備中ぐわが使われるようになった。
- ウ 農法が進歩し、二毛作や牛馬による耕作が行われるようになった。
- エ 木版印刷が広まり、出版された農書を通じて農業技術が普及した。

3 下線部③について、戦乱の多かった中世には、多くの武士や農民が戦いに加わりました。日本の中世の戦いについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。

- ア 幕府に不満をもつ武士を味方に付けた後醍醐天皇が兵を挙げ、幕府を倒した。
- イ 南朝と北朝に分かれて対立していた朝廷が統一され、長く続いた動乱が収まった。
- ウ 幕府に忠誠をちかった武士が、モンゴルの襲来に対して、防衛のために戦った。

4 下線部④について、資料Bは、そばを運ぶ人の姿がえがかれている、江戸時代の作品の一部です。

資料Bに関わる文化について述べた次の文中の 、 にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a - 化政 b - 錦絵
- イ a - 化政 b - 水墨画
- ウ a - 元禄 b - 錦絵
- エ a - 元禄 b - 水墨画

この作品がえがかれたころ、文化とよばれる、江戸を中心とした庶民の文化が発展し、この作品のような、庶民の生活のようすや風景をえがいたが流行した。

資料B 江戸時代の風景画の一部

著作権の関係で掲載しておりません。

5 下線部⑤について、京子さんは、しょうゆの生産と輸送に興味をもって調べ、資料C、Dを作成しました。18世紀から19世紀のあいだに、江戸に供給されるしょうゆの、おもな生産地と江戸までの輸送は、どのようにうつりかわったと考えられるか、資料C、Dを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料C 1726年と1821年に江戸に入荷したしょうゆの量と生産地

著作権の関係で掲載しておりません。

資料D 18世紀から19世紀の水運の航路の一部としょうゆのおもな生産地

著作権の関係で掲載しておりません。

(注) 数字は四捨五入している。

(資料C、Dともに「日本の味 醤油の歴史」などより作成)

第 四 問 科学技術の発展と社会の変化について、資料Aを読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

資料A 科学技術の発展と社会の変化

科学技術の発展は、社会に大きな変化をもたらしました。たとえば、①情報化の進展は、新しい産業を創出し、市場を拡大させました。また、②医療技術の進歩は、医療のあり方にも影響を与えています。私たちには、科学技術の発展にともなう変化に対応するとともに、③社会をよりよい方向に変える手助けになるように、科学技術を活用することが求められています。

1 下線部①について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 情報化の進展についてまとめた資料B中の  ，  
 にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a - ICT                      b - 情報リテラシー  
イ a - ICT                      b - マスメディア  
ウ a - AI                        b - 情報リテラシー  
エ a - AI                        b - マスメディア

(2) 科学技術の発展にともない、情報通信などの分野で、形のない商品の流通が増えています。市場で取り引きされる商品のうち、形のない商品のことを何というか、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 資本                              イ サービス                              ウ 株式                              エ 利潤

(3) 日本において、市場の独占を規制して自由競争をうながすために、独占禁止法にもとづいて監視や指導を行う国の機関を何というか、書きなさい。

2 下線部②について、医療のあり方の変化を背景に、医療現場でインフォームド・コンセントが求められるようになりました。インフォームド・コンセントについて説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 医師が、医療に関する十分な専門的知識を身に付けたうえで、患者の治療にあたること。  
イ 医師が、治療の内容について記録を残し、患者からの要望があれば情報を開示すること。  
ウ 患者の個人情報や、患者の許可なく他者に知られないよう、医師が厳重に管理すること。  
エ 治療方法などを患者が最終決定できるよう、医師が十分に説明して患者の同意を得ること。

3 下線部③について、科学技術を医療に生かす取り組みとして、情報通信機器を通して診察や診断などを行うオンライン診療の導入が進められています。オンライン診療について、導入することで高齢の患者が得られる利点と、導入にあたっての課題を、資料C～Eを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料C 医療サービス利用時の移手段 (2017年)

|           |        | 自分で運転する自動車等 | 公共交通機関 | 家族による送迎 |
|-----------|--------|-------------|--------|---------|
| 都市規模別 (%) | 大都市    | 25.0        | 23.1   | 4.1     |
|           | 中都市    | 46.8        | 9.9    | 11.2    |
|           | 小都市    | 59.2        | 5.2    | 17.0    |
|           | 町村     | 55.2        | 4.6    | 16.7    |
| 年齢別 (%)   | 55～59歳 | 65.4        | 11.8   | 1.3     |
|           | 60歳代   | 59.8        | 7.7    | 6.2     |
|           | 70歳代   | 40.9        | 12.0   | 12.8    |
|           | 80歳以上  | 21.9        | 14.0   | 26.5    |

(注) 調査対象は全国の55歳以上の男女である。また、数字は四捨五入している。  
(「平成29年高齢者の健康に関する調査」より作成)

資料B 情報化の進展

と略称される情報通信技術は、急速に発展し、私たちの生活の利便性を大きく向上させました。一方で、情報化社会に対応するために、情報を正しく読み取り活用する能力である  を身に付けることが求められています。

資料D 年齢階層別インターネット利用率 (2017年)

| 年齢階層  | インターネット利用率 (%) |
|-------|----------------|
| 60歳代  | 73.9           |
| 70歳代  | 46.7           |
| 80歳以上 | 20.1           |

(「令和元年版情報通信白書」より作成)

資料E オンライン診療に患者への配慮を取り入れた例

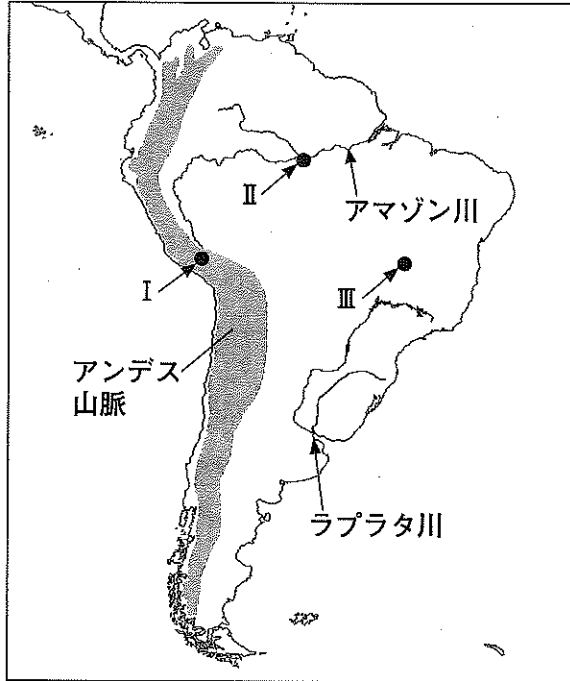
看護師などが通信用機器を持参して患者宅を訪問し、機器の設置と診療のサポートを行う。

(「厚生労働省ホームページ」より作成)

第五問 美雪さんは、社会科の授業で、「南アメリカ州の人々の生活と文化」について調べました。次の1～3の問いに答えなさい。

1 美雪さんは、南アメリカ州の自然環境と生活とのかかわりについて調べ、資料Aを作成しました。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

資料A 南アメリカ州の自然環境と生活とのかかわり



- アマゾン川の流域に暮らす先住民は、焼畑農業を行い、キャッサバとよばれるいもなどを栽培してきました。また、川でとれる豊富な魚は、流域に暮らす人々の食生活にかかせないものとなっています。
- ラプラタ川流域の平地には、河口付近を中心に、①とよばれる広大な草原が広がっています。この地域では、19世紀から大規模な牧畜が発展し、牛肉を使った料理がよく食べられてきました。
- ②アンデス山脈の高山地帯に暮らす先住民は、とうもろこしやじゃがいもなどを、それぞれの栽培に適した標高の場所で作くり、それらの作物を標高の異なる地域のあいだで互いに交換してきました。

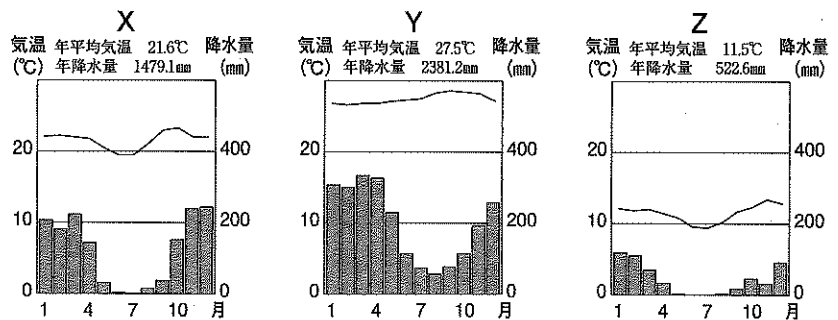
- (1) ①にあてはまる語句を書きなさい。
- (2) 下線部②について、美雪さんは、南アメリカ州の気候について、アンデス山脈の高山地帯の気候を他の地域の気候と比べるために、資料A中に示したI～IIIの3つの都市の標高と気候を調べ、資料B、Cを作成しました。都市I～IIIと、資料C中のグラフX～Zの組み合わせとして、正しいものを、あとのア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 都市I～IIIの標高

|       | 都市I   | 都市II | 都市III |
|-------|-------|------|-------|
| 標高(m) | 3,826 | 72   | 1,159 |

(「気象庁ホームページ」より作成)

資料C 都市I～IIIの気温と降水量



(「気象庁ホームページ」より作成)

|   | 都市Iの<br>グラフ | 都市IIの<br>グラフ | 都市IIIの<br>グラフ |
|---|-------------|--------------|---------------|
| ア | X           | Y            | Z             |
| イ | X           | Z            | Y             |
| ウ | Y           | X            | Z             |
| エ | Y           | Z            | X             |
| オ | Z           | X            | Y             |
| カ | Z           | Y            | X             |



- 2 美雪さんは、南アメリカ州では、多様な人々が混ざり合っ  
て暮らす社会が形成されていることに気づきました。そこで、  
そのような社会が形成された背景について、南アメリカ州で最  
も人口が多いブラジルに着目して調べを進め、資料Dを作成し  
ました。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

資料D ブラジルに暮らす人々の特徴

著作権の関係で  
掲載していません。

- ブラジルには、ヨーロッパ系とアフリカ系とのあ  
いだの混血の人々が多く暮らしています。これは、メ  
スチソ（メスチーソ）が多い、ペルーなどの、アンデ  
ス山脈に位置する国とは異なる特徴です。
- ブラジルには、移民の子孫が多く暮らしています。  
農園での労働力として、ヨーロッパやアジアから多  
くの移民がブラジルに渡りました。③1908年に日本  
からブラジルへの最初の移民が渡り、1920年代から  
1930年代には特に増加しました。

〔外務省ホームページ〕などより作成

- (1) 下線部③について、ブラジルへの移民の増加がみられた、1920年代から1930年代の日本のよう  
すについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 高度経済成長と急激な人口の増加により、エネルギー不足が心配されるようになった。
- イ 関東大震災や恐慌の影響で失業者が増え、各地で激しい労働争議や小作争議が起こった。
- ウ 日露戦争の開戦により軍事費が急増し、それにともなう増税が国民の生活を圧迫した。
- エ 地租改正で決められた税負担などに対する不満が高まり、改正反対の一揆が起こった。

- (2) 美雪さんは、ブラジルに暮らす人々の食文化について調べ、さまざまな食材が使われている伝統料理に興味をもち、資料Eを作成しました。ブラジルの食文化の形成には、どのような歴史的背景があると考えられるか、資料D、Eを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料E ブラジルの代表的な伝統料理

著作権の関係で  
掲載していません。

〔世界の食文化13 中南米〕などより作成

- 3 美雪さんは、ブラジルに暮らす人々について調べるなかで、先住民の生活と文化を保護することが課題となっていることを知り、資料Fを作成しました。資料F中の  にあてはまるものとして、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料F ブラジル先住民の生活と文化の保護

著作権の関係で  
掲載していません。

- ア 酸性雨による森林の立ち枯れと湖沼の水質変化
- イ 温暖化による干ばつの頻発と砂漠の拡大
- ウ 農地開発などのための伐採による森林の減少
- エ 大規模なかんがいによる地下水の減少

第六問 拓矢さんは、社会科の授業で、「国際問題と日本の国際貢献」について調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 国際問題と日本の国際貢献

①世界各地で起こっている戦争や地域紛争、テロは、多くの難民を生み出し、貧困や飢餓などの問題を深刻化させています。これらの問題を解決し、よりよい社会を実現するためには、従来の安全保障の考え方に加えて、一人一人の生命や人権を大切に平和と安全を実現する「の安全保障」という考え方が重要です。日本を含む多くの国が、③国際連合をはじめとする国際機関と協力しながら、④政府開発援助などを通じて途上国への支援を行っています。今後も、国際社会が協調して、国際問題の解決に向けた継続的な取り組みを進めていく必要があります。

1 下線部①について、第二次世界大戦後に起こった、戦争や地域紛争、テロにかかわるできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。

- ア アメリカのニューヨークなどで、同時多発テロが起こった。
- イ ベトナムで起こった戦争に、アメリカが軍事介入した。
- ウ 冷戦による東西対立の象徴であったベルリンの壁が崩壊した。

2 にあてはまる語句を書きなさい。

3 下線部③について、国際連合と連携して活動する専門機関のうち、医療や衛生などに関する活動を行う機関として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア PKO                      イ WHO                      ウ UNESCO                      エ UNICEF

4 下線部④について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 資料Bは、政府開発援助の援助額上位6か国の援助額の内訳を示したものです。資料Bから読みとれることについて述べた文として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 援助額計の上位6か国のうちでは、援助額計が大きい国ほど、国際機関向け援助額が大きくなる。
- イ 援助額計の上位3か国はいずれも、援助額計に占める二国間援助額の割合が9割以上である。
- ウ 日本は、援助額計の上位6か国のうちで、二国間援助額に占める技術協力の額の割合がもっとも大きい。
- エ オランダは、援助額計に占める国際機関向け援助額の割合が、日本と比べて大きい。

資料B 政府開発援助の援助額上位6か国の援助額の内訳 (2019年)

|      | 援助額計<br>(億ドル) | 二国間<br>援助<br>(億ドル) |            | 国際機関<br>向け援助<br>(億ドル) |
|------|---------------|--------------------|------------|-----------------------|
|      |               |                    | うち<br>技術協力 |                       |
| アメリカ | 335           | 293                | 7          | 42                    |
| ドイツ  | 242           | 186                | 61         | 56                    |
| イギリス | 194           | 131                | 20         | 63                    |
| 日本   | 156           | 118                | 20         | 38                    |
| フランス | 122           | 74                 | 17         | 48                    |
| オランダ | 53            | 34                 | 5          | 19                    |

(注) 二国間援助とは、相手国に直接援助を行うものである。また、数字は四捨五入している。〔外務省ホームページ〕より作成

(2) 拓矢さんは、日本で、ある団体が行う、「市民参加協力事業」という事業について知り、資料C、Dを作成しました。この事業によって、日本での国際貢献の取り組みと活動対象地域の発展に、どのような効果が期待されるか、資料C、Dを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料C ある団体が行う「市民参加協力事業」

資料D ある団体が行う「市民参加協力事業」を通じた活動の例

著作権の関係で  
掲載しておりません。

(資料C、Dともに「国際協力機構ホームページ」より作成)

| 備考欄 | 配点 | 第一問   |   |
|-----|----|-------|---|
|     | 15 |       |   |
|     | 3  | 1     | エ |
|     | 3  | 2     | ア |
|     | 3  | 3 (1) | エ |
|     | 3  | 3 (2) | ウ |
|     | 3  | 4     | イ |

| 備考欄 | 配点 | 第二問   |   |
|-----|----|-------|---|
|     | 17 |       |   |
|     | 3  | 1 (1) | 筑紫 [平野]   |
|     | 3  | 1 (2) | イ   |
|     | 3  | 1 (3) | ウ   |
|     | 3  | 2 (1) | ア   |
|     | 5  | 2 (2) | (例) 台風の影響を受けにくい農業生産を進めることで、台風による農業被害を減らすとともに、牛肉などの県産農産物のブランド化を進めることで、輸入量が増加する外国産農産物に対抗するための競争力を高めようとした。 |

| 備考欄 | 配点 | 第五問   |  |
|-----|----|-------|--|
|     | 17 |       |  |
|     | 3  | 1 (1) | パンパ  |
|     | 3  | 1 (2) | カ  |
|     | 3  | 1 (1) | イ  |
|     | 5  | 2 (2) | (例) ブラジルを植民地にしたポルトガルが、先住民を支配し、アフリカから奴隷として連れてこられた人々を労働力としたこと。 |
|     | 3  | 3     | ウ  |

| 備考欄 | 配点 | 第三問 |   |
|-----|----|-----|---|
|     | 17 |     |   |
|     | 3  | 1   | 冠位十二階   |
|     | 3  | 2   | ウ   |
|     | 3  | 3   | ウ → ア → イ   |
|     | 3  | 4   | ア   |
|     | 5  | 5   | (例) 関西地方産のしょうゆが廻船で海上輸送されていたのにかわり、関東地方産のしょうゆが河川を利用して輸送されるようになった。 |

| 備考欄 | 配点 | 第四問   |  |
|-----|----|-------|--|
|     | 17 |       |  |
|     | 3  | 1 (1) | ア  |
|     | 3  | 1 (2) | イ  |
|     | 3  | 1 (3) | 公正取引委員会  |
|     | 3  | 2     | エ  |
|     | 5  | 3     | (例) 自身の運転や公共交通機関による移動が難しい高齢の患者にとって、移動が不要だという利点がある一方、通信用機器の使用が難しい高齢の患者には、受診に支援が必要だという課題がある。 |

| 備考欄 | 配点 | 第六問   |  |
|-----|----|-------|--|
|     | 17 |       |  |
|     | 3  | 1     | イ → ウ → ア  |
|     | 3  | 2     | 人間   |
|     | 3  | 3     | イ  |
|     | 3  | (1)   | エ  |
|     | 5  | 4 (2) | (例) 国際協力活動に参加しやすくなることで、国際貢献に取り組む市民が日本で増えるとともに、課題解決に必要な知識や技術の伝達などを通じて現地の人の自立を支援することで、活動対象地域の持続的な発展が見込まれる。 |

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

1 出題のねらいと内容

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則の知識，事象を数学化して解釈・表現・処理する技能及びそれらを活用して事象や数量，図形について数学的に考察し表現する力をみることをねらいとした。

第一問では，数と式についての基礎的な知識と計算力，反比例の特徴を理解し適切に処理する力及び三角形の内角と外角の性質から角の大きさを求める力をみようとした。

第二問では，関数  $y=ax^2$  のグラフの特徴を理解し座標や直線の式を求める力，円錐の体積を求める力，相似な立体の相似比と体積比の関係から立体の体積の比を求める力，条件から方程式を立式し処理する力及び二つのヒストグラムから代表値やデータの分布の傾

向を適切に読み取る力をみようとした。

第三問では，ショッピングモールで企画したイベントを素材とし，起こり得る場合を順序よく整理し考察する力，イルミネーションを点灯させる時間と消費する電力量の関係を式やグラフに表現する力及び伴って変わる二つの数量の関係を論理的に考察し処理する力をみようとした。

第四問では，三平方の定理を用いて線分の長さを求める力，半円の弧に対する円周角の性質を用いて二つの三角形が相似であることを証明する力，三角形と比の定理に着目して三角形の面積を求める力及び複数の相似な三角形を見いだして線分の長さの比を求める力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問> 基礎的な計算，基礎事項についての問題

反比例を式で表し処理する力，図形の性質を利用する力に課題

7 グラフ上の点の座標から反比例の式を求め， $x$ 座標に対応する $y$ 座標を求める問題である。 $a \cdot b$ 層と $c$ 層の得点率の差が特に大きかった。 $c$ 層で $-4$ という誤答が多く，計算をせずに図の見た目から判断したものと思われる。反比例の式が $y=a/x$ で表されることが十分に定着していないと考えられることから，反比例の性質と式を関連付けて理解できるよう丁寧に指導し，知識の定着を図りたい。

8 三角形の内角と外角の性質から，角の大きさを求める問題である。補助線をひかずに， $\angle BAD$ の大きさと $\angle BCD$ の大きさを足した $60$ 度や， $\angle ABC$ の大きさを $2$ 倍にした $86$

度とした誤答が目立った。補助線をひくことで，図形のどのような性質が利用できるのかを考える活動などにより，実際の場面で活用できる生きた知識として図形の性質を身に付けさせたい。

<第二問> 4領域の基礎事項についての問題

図形を正しく捉え考察する力，数量の関係を整理して方程式を立式し処理する力，データの傾向を読み取る力に課題

2 (2) 相似な図形の相似比と体積比の関係から二つの立体の体積の比を求める問題だが，正答率が第二問で最も低かった。円錐 $P$ と立体 $Q$ が相似であるかをよく確かめずに，与えられた比をそのまま $3$ 乗したと思われる $27:8$ という誤答が全体の $23\%$ を占め，正答よりも多かった。立体は，平面図形よりも関係

を捉えにくい。ICTを活用し相似な立体を二つ並べて提示するなど、生徒がイメージしやすいよう工夫することで、二つの立体の関係を正しく捉え、考察する力の育成を図りたい。

- 3 (1)は数量関係を整理し文字式で表す問題である。 $30/x$ や $x/30$ といった誤答が多く、割合についての理解が十分でないことがうかがえる。(2)は方程式を立式し処理する問題だが、 $b \cdot c$ 層の無答率が高く、数量関係を整理して方程式で表すことに課題があると考えられる。数量関係を表や線分図にまとめてから立式させるなどの指導の工夫が望まれる。
- 4 (2) 二つのヒストグラムを基に正誤判断をする問題である。昨年度の、一つの度数分布表を基に正誤判断をする問題よりも正答率が20ポイント以上低下した。ア、ウ、エと選択したものやア、エ、オと選択したものが、誤答の13%ずつを占めた。大きさの異なる二つ以上の集団のデータについて検討する場面を取り入れるなど、代表値や相対度数、ヒストグラムからそのデータの傾向を的確に捉え、データの大きさにかかわらず、考察し判断できるように、統計の基本的な技能を身に付けさせたい。

#### <第三問>データの活用と関数の融合問題

事象を的確に捉え判断する力、情報を正しく理解し的確に表現・考察する力に課題

- 1 (2) 場合の数を基にして確率を求める問題である。シールが三つ並ぶ場合を、縦か横の一方のみ数え上げたと思われる誤答が多く見られた。一つの樹形図から様々な確率を考えさせるなど、樹形図で求めた一つ一つの事象を的確に捉え、正しく判断することができるよう丁寧に指導したい。
- 2 (2) (ア)は時間と消費する電力量の関係をグラフで表現する問題である。設定Aで点灯

させるときのグラフの傾きはおおむね正しくかけていたが、設定Bにする時刻を間違えたものや、設定Bのグラフの傾きが正しくない誤答が目立った。(イ)は消費する電力量が等しくなる時刻を求める問題である。休日のグラフを17時からかいたことが原因と思われる19時30分という誤答が多かった。日常的な事象を取り扱う場面では、 $x$ の変域を意識させるようにするなど、情報を正しく読み取り、式やグラフとしての的確に表現し、考察させながら関数の有用性と必要性に気付かせたい。

#### <第四問>図形についての問題

定理を正しく適用し処理する力、論理的に筋道を立てて表現する力に課題

- 1 三平方の定理を用いて線分の長さを求める問題である。計算によらず、図の見た目から判断したと思われる5cmが誤答の28.4%を占めた。また、三平方の定理を用いる際に、線分BCを直角三角形の斜辺として計算した $2\sqrt{13}$ cmといった誤答も目立った。定理を扱う際は、図形と関連付けて具体的にイメージさせながら様々な場面で活用させ、定理の有用性を実感できるように工夫したい。
- 2 二つの三角形が相似であることを証明する問題である。証明の問題の正答率は、昨年度より6.3ポイント低下した。 $\angle ACB=90^\circ$ を仮定と考えたことで根拠が不十分な誤答や、 $\angle ACB=90^\circ$ の根拠を書いていない誤答が、全体の24.5%であった。協働的な学びの中で、根拠を明らかにして説明することを意識させた活動を取り入れるなど、飛躍がなく、論理的に筋道を立てて表現する力の育成が望まれる。
- 3, 4 どちらも、無答率が30%を超えた。相似な三角形の対応する辺を正しく捉え、比例式で表すことができるような力の育成が求められる。

| 問題  |           |                    | 正答率 → | ← 無答率 | 得点率                           | 調査書総点別得点率<br>(a:135~111点 b:110~88点 c:87~44点) |
|-----|-----------|--------------------|-------|-------|-------------------------------|--|
| 第一問 | 1         | 計算 整数の加減           | 96.3% | 0.0%  | 96.3%                         | a:100.0%<br>b:98.0%<br>c:91.3%               |
|     | 2         | 計算 整数の四則           | 98.3% | 0.0%  | 98.3%                         | a:100.0%<br>b:100.0%<br>c:94.9%              |
|     | 3         | 計算 単項式の除法          | 85.5% | 0.5%  | 85.7%                         | a:99.1%<br>b:91.8%<br>c:65.7%                |
|     | 4         | 計算 式の値             | 73.0% | 2.8%  | 73.1%                         | a:94.8%<br>b:79.0%<br>c:48.6%                |
|     | 5         | 計算 根号を含む式          | 89.3% | 0.5%  | 89.3%                         | a:99.1%<br>b:96.6%<br>c:73.2%                |
|     | 6         | 計算 二次方程式           | 78.8% | 2.0%  | 79.8%                         | a:94.8%<br>b:87.4%<br>c:59.2%                |
|     | 7         | 求値 点の座標            | 64.0% | 4.0%  | 64.2%                         | a:95.7%<br>b:76.0%<br>c:25.2%                |
|     | 8         | 求値 角の大きさ           | 68.0% | 2.0%  | 68.0%                         | a:93.1%<br>b:71.2%<br>c:43.5%                |
| 第二問 | 1         | (1) 求値 点の座標        | 77.5% | 4.0%  | 78.3%                         | a:99.1%<br>b:92.0%<br>c:46.1%                |
|     |           | (2) 式の決定 直線の式      | 61.0% | 15.3% | 61.4%                         | a:92.2%<br>b:70.6%<br>c:25.8%                |
|     | 2         | (1) 求値 円錐の体積       | 74.5% | 2.5%  | 74.5%                         | a:96.6%<br>b:79.5%<br>c:50.7%                |
|     |           | (2) 求値 体積の比        | 19.5% | 11.5% | 19.9%                         | a:52.2%<br>b:12.5%<br>c:0.7%                 |
|     | 3         | (1) 表現 文字式         | 65.5% | 5.5%  | 65.7%                         | a:95.7%<br>b:71.0%<br>c:34.8%                |
|     |           | (2) 求値 連立方程式       | 36.8% | 26.8% | 36.8%                         | a:69.8%<br>b:37.0%<br>c:8.7%                 |
|     | 4         | (1) 求値 中央値         | 84.3% | 0.0%  | 84.3%                         | a:98.3%<br>b:84.9%<br>c:71.7%                |
|     |           | (2) 正誤判断 代表値, 相対度数 | 27.8% | 0.0%  | 33.6%                         | a:53.8%<br>b:31.0%<br>c:19.3%                |
| 第三問 | 1         | (1) 求値 場合の数        | 87.8% | 0.8%  | 87.8%                         | a:100.0%<br>b:90.4%<br>c:74.6%               |
|     |           | (2) 求値 確率          | 60.8% | 4.8%  | 60.8%                         | a:78.5%<br>b:65.1%<br>c:41.3%                |
|     | (1) 求値 比例 | 84.5%              | 2.3%  | 84.5% | a:96.6%<br>b:89.0%<br>c:69.6% |  |
|     | 2         | (7) 表現 一次関数のグラフ    | 68.8% | 3.8%  | 75.4%                         | a:96.9%<br>b:83.0%<br>c:49.3%                |
|     |           | (1) 求値 一次関数の利用     | 33.3% | 13.5% | 34.0%                         | a:54.7%<br>b:33.6%<br>c:17.0%                |
| 第四問 | 1         | 求値 三平方の定理          | 66.5% | 5.0%  | 66.8%                         | a:92.2%<br>b:80.8%<br>c:30.6%                |
|     | 2         | 証明 三角形の相似          | 30.5% | 10.5% | 46.1%                         | a:77.0%<br>b:47.5%<br>c:18.7%                |
|     | 3         | 求積 三角形の面積          | 11.0% | 39.3% | 11.0%                         | a:27.6%<br>b:7.5%<br>c:0.7%                  |
|     | 4         | 求値 線分の長さの比         | 1.3%  | 31.3% | 1.3%                          | a:4.3%<br>b:0.0%<br>c:0.0%                   |
| 計   |           |                    |       |       | 57.1%                         | a:77.4%<br>b:60.5%<br>c:36.4%                |

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

令和 4 年度  
公立高等学校入学者選抜学力検査問題  
数 学

第 一 問 次の 1～8 の問いに答えなさい。

1  $-7-4$  を計算しなさい。

2  $6+(-2)^2$  を計算しなさい。

3  $3xy^2 \div 15xy$  を計算しなさい。

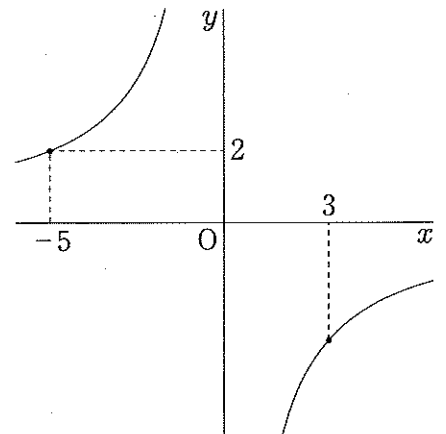


4  $a = -1, b = \frac{3}{5}$  のとき,  $(a+4b) - (2a-b)$  の値を求めなさい。

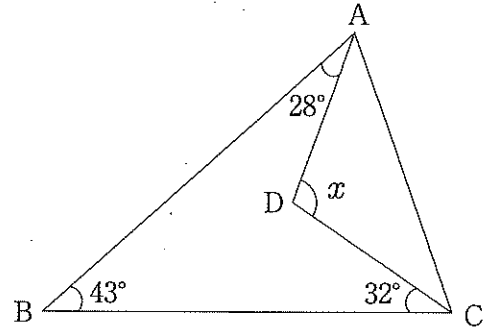
5  $\sqrt{3} \times \sqrt{6} - \sqrt{2}$  を計算しなさい。

6 2次方程式  $x^2 - x - 12 = 0$  を解きなさい。

7 下の図のような, 点  $(-5, 2)$  を通る反比例のグラフがあります。このグラフ上の,  $x$  座標が 3 である点の  $y$  座標を求めなさい。



- 8 下の図のような、 $\angle ABC=43^\circ$  の  $\triangle ABC$  があります。 $\triangle ABC$  の内部に点  $D$  をとり、点  $D$  と点  $A$ 、点  $D$  と点  $C$  をそれぞれ結び、 $\angle ADC = \angle x$  とします。 $\angle BAD=28^\circ$ 、 $\angle BCD=32^\circ$  のとき、 $\angle x$  の大きさを求めなさい。

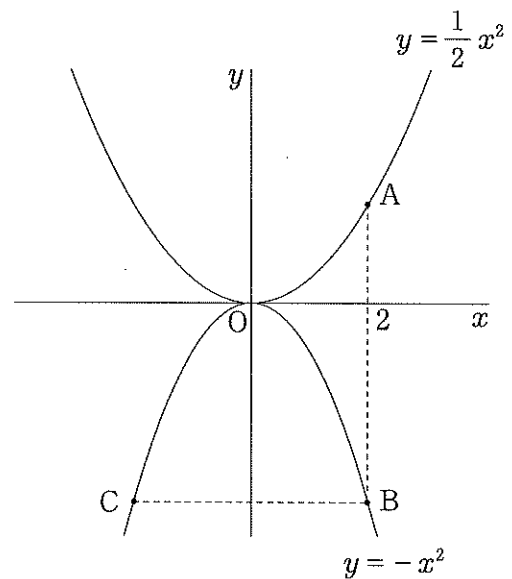


第二問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 下の図のように、関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  のグラフ上に、 $x$ 座標が2である点  $A$  をとります。また、関数  $y = -x^2$  のグラフ上に、点  $A$  と  $x$ 座標が等しい点  $B$  と、点  $B$  と  $y$ 座標が等しく  $x$ 座標が異なる点  $C$  をとります。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 点  $C$  の座標を求めなさい。

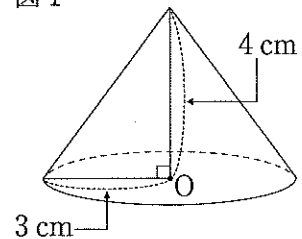


- (2) 2点  $A$ 、 $C$  を通る直線の式を求めなさい。

- 2 図Iのような、半径が3 cmの円Oを底面とし、高さが4 cmの円錐があります。  
次の(1)、(2)の問いに答えなさい。ただし、円周率を $\pi$ とします。

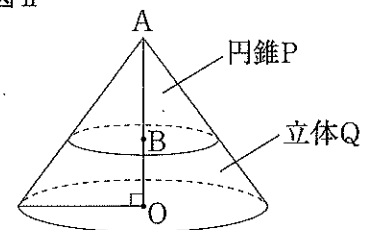
(1) この円錐の体積を求めなさい。

図I



- (2) 図IIは、図Iにおいて、円錐の頂点をAとし、線分AO上に、 $AB:BO=3:2$ となる点Bをとったものです。この円錐を、点Bをふくむ、底面に平行な平面で分けたときにできる2つの立体のうち、円錐の方をP、もう一方の立体をQとします。円錐Pと立体Qの体積の比を求めなさい。

図II



- 3 ある中学校で、生徒を対象に、好きな給食の献立を調査しました。この調査では、生徒が、好きな給食の献立を1人1つだけ回答しました。下の表は、1年生と2年生のそれぞれについて、回答した人数が多かった上位3つの献立と、その献立を回答した人数の、学年全体の人数に対する割合を整理したものです。

あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

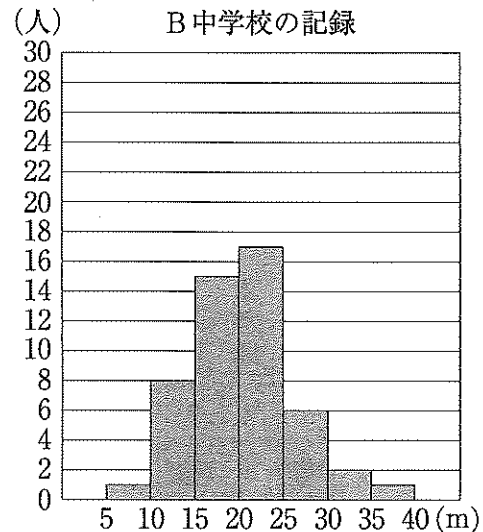
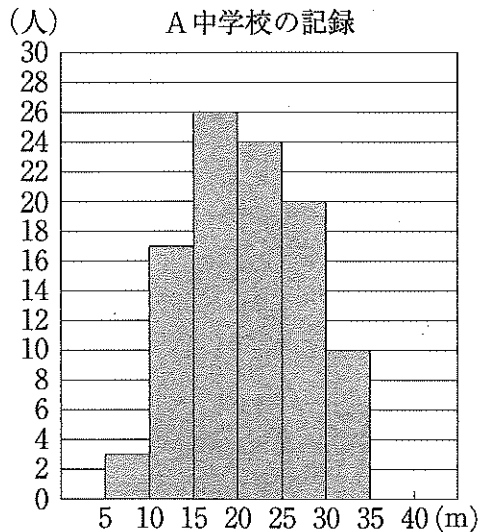
| 1年生    |     |
|--------|-----|
| 献立     | 割合  |
| カレーライス | 30% |
| から揚げ   | 25% |
| ハンバーグ  | 20% |

| 2年生    |     |
|--------|-----|
| 献立     | 割合  |
| から揚げ   | 36% |
| カレーライス | 24% |
| ハンバーグ  | 16% |

- (1) 1年生全体の人数を $x$ 人とするとき、カレーライスと回答した1年生の人数を、 $x$ を使った式で表しなさい。
- (2) 1年生全体の人数と2年生全体の人数は、合わせて155人でした。また、カレーライスと回答した、1年生の人数と2年生の人数は、合わせて42人でした。から揚げと回答した2年生の人数は何人ですか。

- 4 A中学校の3年生男子100人とB中学校の3年生男子50人の、ハンドボール投げの記録をとりました。下の図は、A中学校、B中学校の記録をそれぞれ、階級の幅を5mとして整理した度数分布表を、ヒストグラムに表したものです。たとえば、5m以上10m未満の階級の度数は、A中学校は3人、B中学校は1人です。

あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。



- (1) A中学校のヒストグラムで、中央値は、何m以上何m未満の階級に入っていますか。
- (2) A中学校とB中学校の、ヒストグラムから必ずいえることを、次のア～オからすべて選び、記号で答えなさい。

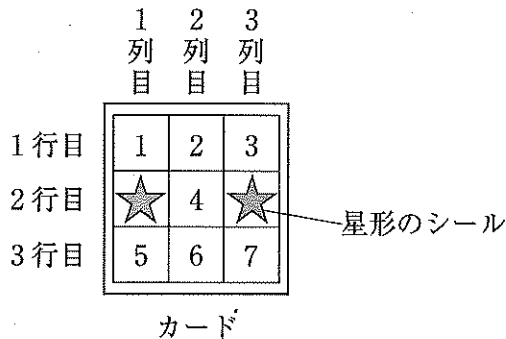
- ア 記録の中央値が入っている階級は、A中学校とB中学校で同じである。
- イ 記録の最大値は、A中学校の方がB中学校よりも大きい。
- ウ 記録の最頻値は、A中学校の方がB中学校よりも大きい。
- エ 記録が25m以上30m未満の階級の相対度数は、A中学校の方がB中学校よりも大きい。
- オ 記録が15m以上20m未満の階級の累積相対度数は、A中学校の方がB中学校よりも大きい。

第三問 あるショッピングモールで、イベントを開催します。そこで、子供向けのゲームを企画しました。また、会場に飾りつけるイルミネーションを点灯させる計画を立てました。

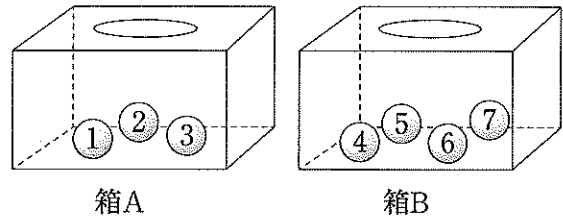
次の1, 2の問いに答えなさい。

- 1 イベントで行うゲームのために、3行3列のマス目があるカードと、2つの箱A, Bを用意しました。カードには、図Iのように、カードのマス目の2行目の、1列目と3列目のマスに星形のシールが貼ってあり、残りの7つのマスには1から7の数字が1つずつ書かれています。また、図IIのように、箱Aには、1, 2, 3の数字が1つずつ書かれた3個の球が、箱Bには、4, 5, 6, 7の数字が1つずつ書かれた4個の球が、それぞれ入っています。2つの箱とも、それぞれ中の球をよくかき混ぜておきます。

図I



図II



ゲームのルールは、次の  のとおりです。

【ルール】

- ・箱Aと箱Bのそれぞれから球を1個ずつ取り出し、カードのマス目の、取り出した球に書かれた数字と同じ数字が書かれたマスに、星形のシールを貼る。
- ・カードの縦、横のいずれかに、星形のシールが3つ並ぶと、景品がもらえる。

次の(1), (2)の問いに答えなさい。

- (1) 箱Aと箱Bのそれぞれから球を1個ずつ取り出すとき、球の取り出し方の組み合わせは、全部で何通りありますか。
- (2) 箱Aと箱Bのそれぞれから球を1個ずつ取り出すとき、景品がもらえる確率を求めなさい。

2 イルミネーションの点灯について、平日と休日、異なる計画を立てました。イルミネーションは、1時間あたりの消費する電力量が異なる、2つの設定A、Bのいずれかで点灯させることができます。下の表は、2つの設定A、Bの、1時間あたりの消費する電力量をまとめたものです。どちらの設定も、消費する電力量は、点灯させる時間に比例します。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) イルミネーションを設定Aで点灯させる場合、10分間で消費する電力量は、何Whですか。

| 設定 | 1時間あたりの消費する電力量 (Wh) |
|----|---------------------|
| A  | 300                 |
| B  | 100                 |

(Whは消費する電力量の単位)

(2) 次の2つの          は、平日と休日の計画です。次の(ア)、(イ)の問いに答えなさい。

(ア) 平日の17時から20時までの、イルミネーションを点灯させる時間と消費する電力量との関係を表すグラフを、解答用紙の図にかき入れなさい。

【平日の計画】

- ・17時から18時30分まで、設定Aにする。
- ・18時30分から20時まで、設定Bにする。

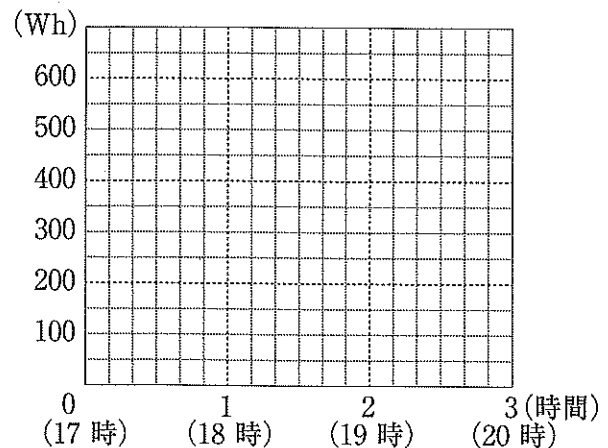
【休日の計画】

- ・17時から17時30分まで、点灯しない。
- ・17時30分から18時まで、設定Bにする。
- ・18時から20時まで、設定Aにする。

(イ) 平日と休日の、17時からある時刻までに消費する電力量を比較したところ、平日の消費する電力量と休日の消費する電力量が等しくなる時刻が、17時30分よりあとに1回あることがわかりました。その時刻を求めなさい。

なお、図Ⅲを利用してかまいません。

図Ⅲ



第 四 問 長さが 6 cm の線分 AB を直径とする円 O があります。図 I のように、円 O の周上に  $AC = 4$  cm となる点 C をとり、点 B と点 C を結びます。また、線分 AB 上に  $AC = AD$  となる点 D をとり、点 C と点 D を結びます。さらに、点 D から線分 AC に垂線をひき、線分 AC との交点を E とします。

次の 1～4 の問いに答えなさい。

1 線分 BC の長さを求めなさい。

2  $\triangle ABC$  の  $\triangle ADE$  であることを証明しなさい。

3  $\triangle CED$  の面積を求めなさい。

4 図 II は、図 I において、線分 CD を D の方に延長した直線と円 O との交点を F とし、点 F と点 B を結んだものです。また、線分 ED を D の方に延長した直線と線分 BF との交点を G とします。線分 ED と線分 DG の長さの比を求めなさい。

図 I

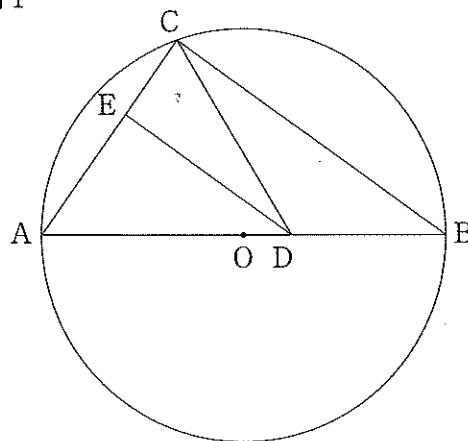
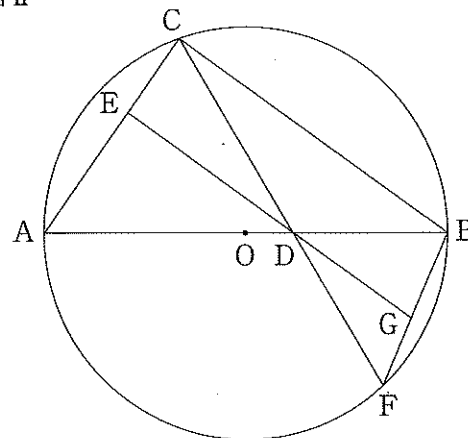


図 II



| 備考欄 | 配 点 |   | 第 一 問           |
|-----|-----|---|-----------------|
|     | 26  |   |                 |
|     | 3   | 1 | -11             |
|     | 3   | 2 | 10              |
|     | 3   | 3 | $\frac{1}{5}y$  |
|     | 3   | 4 | 4               |
|     | 3   | 5 | $2\sqrt{2}$     |
|     | 3   | 6 | $x = -3, x = 4$ |
|     | 4   | 7 | $-\frac{10}{3}$ |
|     | 4   | 8 | 103 [度]         |

| 備考欄  | 配 点 |     | 第 二 問                      |
|--|-----|-----|----------------------------|
|  | 32  |     |                            |
|  | 3   | (1) | $(-2, -4)$                 |
|  | 5   | (2) | $y = \frac{3}{2}x - 1$     |
|  | 3   | (1) | $12\pi$ [cm <sup>3</sup> ] |
|  | 5   | (2) | [円錐P : 立体Q =] 27 : 98      |
| <small><math>\frac{30}{100}x</math>も正答とする。</small> | 3   | (1) | $\frac{3}{10}x$ [入]        |
|  | 5   | (2) | 27 [入]                     |
|  | 3   | (1) | 20 [m以上] 25 [m未満の階級]       |
|  | 5   | (2) | ア , イ                      |

| 備考欄              | 配 点 |                 | 第 三 問          |
|------------------|-----|-----------------|----------------|
|                  | 21  |                 |                |
|                  | 3   | (1)             | 12 [通り]        |
|                  | 4   | (2)             | $\frac{5}{12}$ |
|                  | 3   | (1)             | 50 [Wh]        |
| 採点基準と配点は各学校で定める。 | 5   | 2<br>(ア)<br>(2) |                |
|                  | 6   | (イ)             | 19 [時] 45 [分]  |

| 備考欄              | 配 点 |   | 第 四 問   |
|------------------|-----|---|---|
|                  | 21  |   |   |
|                  | 4   | 1 | $2\sqrt{5}$ [cm]  |
| 採点基準と配点は各学校で定める。 | 6   | 2 | <p>(例) <math>\triangle ABC</math> と <math>\triangle ADE</math> において<br/>                     共通な角だから<br/> <math>\angle BAC = \angle DAE \dots \textcircled{1}</math><br/>                     線分 <math>AB</math> は円 <math>O</math> の直径だから<br/> <math>\angle ACB = 90^\circ \dots \textcircled{2}</math><br/>                     仮定から <math>\angle AED = 90^\circ \dots \textcircled{3}</math><br/> <math>\textcircled{2}, \textcircled{3}</math>より<br/> <math>\angle ACB = \angle AED \dots \textcircled{4}</math><br/> <math>\textcircled{1}, \textcircled{4}</math>より, 2組の角がそれぞれ等しいから<br/> <math>\triangle ABC \sim \triangle ADE</math></p> |
|                  | 5   | 3 | $\frac{8\sqrt{5}}{9}$ [cm <sup>2</sup> ]  |
|                  | 6   | 4 | [ED : DG =] 14 : 9  |

(注) 上記以外については, 各学校で適宜基準を設けるものとする。



## 1 出題のねらいと内容

自然の事物・現象についての知識，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能及び観察，実験などを通して自然の事物・現象について科学的に思考・判断・表現する力をみることをねらいとした。

第一問では，ヒトの血液循環の働き，火山活動と火山災害，ダニエル電池を用いた回路の特徴を調べる実験を素材とし，身近な自然の事物・現象に関する基本的な知識・技能及び自然の事物・現象の規則性や関係性を思考・表現する力をみようとした。

第二問では，植物の光合成と呼吸の働きに関する実験を通して，葉のつくりに関する知識，対照実験に関する技能及び光合成と呼吸の関係について思考・判断・表現する力をみようとした。

第三問では，太陽の日周運動の経路を調べる観察を通して，太陽の日周運動に関する知識及び南中高度や日の出の位置の季節変化と地軸の傾きとの関係について思考・判断する力をみようとした。

第四問では，ばねに加わる力の大きさとばねの伸びとの関係を調べる実験を通して，ばねに関する知識及び得られた結果を分析して解釈し，斜面上の物体に働く力のつり合いと力の合成・分解の規則性について思考・判断・表現する力をみようとした。

第五問では，塩化バリウム水溶液と硫酸の反応に関する実験を通して，化学変化に関する知識及び得られた結果を分析して解釈し，沈殿物の質量変化の規則性について思考・判断・表現する力をみようとした。

## 2 結果の考察

＜第一問＞ 4領域の基礎的・基本的事項について  
の問題

科学的に探究するための基本的な知識と、それを活用する力に課題

- 1 (3) 静脈にある弁の働きに関する問題であるが，a・b層の得点率がそれぞれ7割を超えたのに対し，c層では30.9%にとどまった。誤答の中では「不要なものを取り除く」と解答したものが35.0%を占めた。動脈と静脈の構造に関する基本的な知識を血液の循環経路と関連付けて比較させるなど，丁寧に指導し，定着を促したい。
- 2 (2) 伊豆大島の火山灰に含まれる鉱物の特徴を判断させる問題で，正答率は52.5%であった。火成岩等については，実際に観察し比較させるなど，丁寧な指導が求められる。

- 2 (3) 伊豆大島のハザードマップから読み取ることができる情報と自然環境の特徴を関連付けて判断する問題である。正答率は44.8%で，マグマの性質は判断できているが，風向を誤り「アとウ」を組み合わせて選択したものが誤答の58.8%を占めた。読み取った情報を正しく分析することができなかつたと考えられる。身の回りの事象について学んだ知識を活用し，思考し，判断する学習活動の充実を図りたい。
- 3 (5) 回路を流れる電流の大きさを計算する基本的な問題であった。正答率は54.5%であったが，c層の得点率は18.6%にとどまった。誤答の中では「0.4」，「4」，「40」と解答したものが54.4%を占め，オームの法則の理解に課題がみられた。様々な条件での測定を通して，規則性に気付かせるなど，丁寧に

指導し法則の理解を促したい。

#### <第二問>生物領域についての問題

**適切な観察，実験の方法を立案し，表現する力に課題**

2 「イ」を選択したものが誤答の91.1%を占めた。物質の性質を生かし，目的に即した利用法を判断できなかつたと考えられる。

5 B T B溶液の色の変化が植物の働きによることを確かめる実験方法を立案させる問題であったが，正答率は42.8%であった。

問2，5に共通して，習得した知識を生かし，解決の方法を主体的に考える力の育成が求められる。基本的な知識を活用し，解決の方法を生徒に検討・立案させるなど，主体的な学びの充実に努めたい。

#### <第三問>地学領域についての問題

**天体の運動について，観測者の視点を移動させて考える力に課題**

1 基本的な語句を問う問題であるが，正答率が5割に届かず，「天頂」と解答したものが誤答の58.6%を占めた。基本的用語を用いて考察し，表現させるなど，生きて働く知識として定着を図りたい。

4 (2) 地軸の傾きが $22^\circ$ になった場合の太陽の動きを観察結果と関連付けて思考・判断する問題であった。全ての層で得点率が4割に届かず，天体の運動を空間的に捉える力に課題があると考えられる。モデル実験やICTの活用など，現象を視覚的に捉えさせる工夫を重視し，思考力の育成を図りたい。

#### <第四問>物理領域についての問題

**基本的な知識及び技能の定着，実験結果から規則性を見いだす力に課題**

3 斜面上に置いた力学台車に働く重力を斜面下向きの分力と斜面に垂直な分力に分解する作図問題であったが，正答率は63.5%に達した。しかし，c層の得点率は28.0%にとどまった。誤答では力の矢印の方向と長さの誤りが目立ち，力の三要素を踏まえた力の分解に関する知識及び技能の定着に課題がみられた。身の回りの物体に働く力を取り上げ，力の分解の規則性を当てはめて考えさせるなど，一層の定着を図りたい。

5 実験結果の分析を基に，2種類のばねののびについて考えさせる問題であった。正答率が2.0%と全問題中で最も低く，無答率は28.3%で最も高かった。2種類のばねに働く力の大きさとばねののびに関する規則性を適切に整理して思考できなかつたと考えられる。複数の実験結果を関連付けて分析し表現する課題を設定し，規則性を見いだす力の育成につなげたい。

#### <第五問>化学領域についての問題

**実験の結果を基に分析して解釈したことを表現する力に課題**

1 物質の分類についての基本的な知識を問う問題であった。全体の正答率は75.3%だが，a・b層と比較するとc層の得点率が低かった。身の回りの物質を化学式で表すことを通して単体と化合物の違いに気付かせるなど，今後とも丁寧な指導を続けたい。

4 正答率が21.5%であった。誤答では，質量変化の規則性に言及しつつも，どの反応物に不足が生じているのかを正確に捉えていないものが49.8%を占めた。実験に際しては，結果の考察，振り返りなどの場面を生かしながら協働的な学びを取り入れ，生徒が自らの考えを適切に表現する学習活動の充実に一層留意したい。

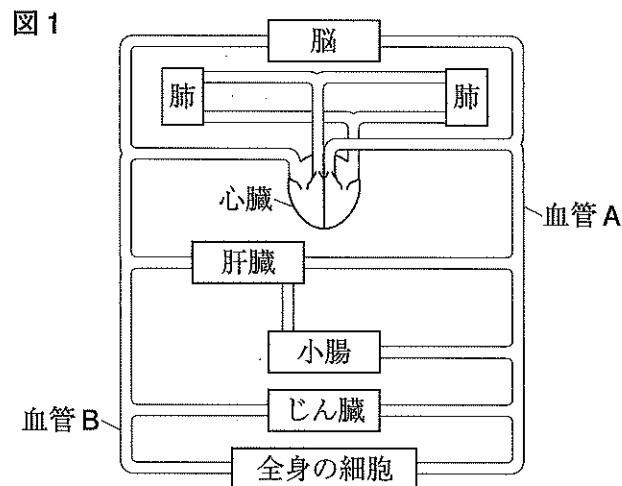
| 問題  |   |                       |                       | 正答率 → | ← 無答率 | 得点率                              | 調査書総点別得点率<br>(a:135~111点 b:110~88点 c:87~44点) |
|-----|---|-----------------------|-----------------------|-------|-------|----------------------------------|--|
| 第一問 | 1 | (1)                   | 記述<br>生物<br>(血液)      | 66.6% | 2.8%  | 67.3%                            | a: 92.2%<br>b: 78.7%<br>c: 38.4%             |
|     |   | (2)                   | 多肢選択<br>生物<br>(血液)    | 62.5% | 0.3%  | 62.5%                            | a: 75.0%<br>b: 62.3%<br>c: 52.2%             |
|     |   | (3)                   | 論述<br>生物<br>(血液)      | 61.8% | 8.3%  | 62.3%                            | a: 89.7%<br>b: 70.1%<br>c: 30.9%             |
|     | 2 | (1)                   | 記述<br>地学<br>(火成岩)     | 67.0% | 4.0%  | 67.0%                            | a: 94.6%<br>b: 70.6%<br>c: 39.9%             |
|     |   | (2)                   | 多肢選択<br>地学<br>(鉱物)    | 52.5% | 0.8%  | 52.5%                            | a: 64.7%<br>b: 51.4%<br>c: 43.5%             |
|     |   | (3)                   | 多肢選択<br>地学<br>(火山現象)  | 44.8% | 0.0%  | 56.3%                            | a: 52.0%<br>b: 63.9%<br>c: 51.7%             |
|     | 3 | (1)                   | 記述<br>化学<br>(重要語句)    | 79.3% | 2.5%  | 79.5%                            | a: 97.4%<br>b: 87.9%<br>c: 55.6%             |
|     |   | (2)                   | 記述<br>物理<br>(重要語句)    | 62.3% | 9.8%  | 62.3%                            | a: 89.7%<br>b: 62.3%<br>c: 38.1%             |
|     |   | (3)                   | 多肢選択<br>物理<br>(回路)    | 52.3% | 0.0%  | 52.3%                            | a: 71.6%<br>b: 52.7%<br>c: 35.5%             |
|     |   | (4)                   | 多肢選択<br>化学<br>(電池)    | 85.3% | 0.0%  | 85.3%                            | a: 98.3%<br>b: 91.1%<br>c: 68.1%             |
|     |   | (5)                   | 計算<br>物理<br>(電流)      | 54.5% | 4.5%  | 54.7%                            | a: 87.9%<br>b: 62.3%<br>c: 38.6%             |
|     |   | (6)                   | 多肢選択<br>化学<br>(電池)    | 62.8% | 0.0%  | 62.8%                            | a: 90.5%<br>b: 66.4%<br>c: 35.5%             |
| 第二問 | 1 | 記述<br>生物<br>(光合成)     | 93.8%                 | 0.5%  | 95.1% | a: 98.9%<br>b: 98.2%<br>c: 88.7% |  |
|     | 2 | 多肢選択<br>生物<br>(動物の性質) | 63.5%                 | 0.0%  | 63.5% | a: 89.7%<br>b: 64.4%<br>c: 40.6% |  |
|     | 3 | 多肢選択<br>生物<br>(実験考察)  | 68.0%                 | 0.0%  | 68.0% | a: 87.1%<br>b: 69.2%<br>c: 50.7% |  |
|     | 4 | 多肢選択<br>生物<br>(実験考察)  | 73.3%                 | 0.0%  | 81.9% | a: 94.8%<br>b: 84.3%<br>c: 68.0% |  |
|     | 5 | 論述<br>生物<br>(実験考察)    | 42.8%                 | 12.0% | 51.6% | a: 81.7%<br>b: 56.0%<br>c: 21.6% |  |
| 第三問 | 1 | 記述<br>地学<br>(重要語句)    | 48.8%                 | 4.5%  | 48.8% | a: 67.2%<br>b: 52.7%<br>c: 29.0% |  |
|     | 2 | 多肢選択<br>地学<br>(天体の動き) | 45.3%                 | 0.0%  | 55.6% | a: 68.1%<br>b: 53.3%<br>c: 48.6% |  |
|     | 3 | 多肢選択<br>地学<br>(天体の動き) | 48.8%                 | 0.3%  | 48.8% | a: 71.6%<br>b: 45.9%<br>c: 32.6% |  |
|     | 4 | (1)                   | 多肢選択<br>地学<br>(天体の動き) | 66.3% | 0.0%  | 66.3%                            | a: 87.9%<br>b: 67.8%<br>c: 46.4%             |
|     |   | (2)                   | 多肢選択<br>地学<br>(天体の動き) | 34.5% | 0.5%  | 34.5%                            | a: 37.1%<br>b: 25.0%<br>c: 31.2%             |
| 第四問 | 1 | 多肢選択<br>物理<br>(力)     | 64.0%                 | 0.0%  | 64.0% | a: 75.9%<br>b: 67.8%<br>c: 30.0% |  |
|     | 2 | 計算<br>物理<br>(力)       | 69.8%                 | 3.0%  | 70.3% | a: 92.0%<br>b: 79.9%<br>c: 42.0% |  |
|     | 3 | 作図<br>物理<br>(力)       | 63.5%                 | 2.8%  | 64.5% | a: 94.5%<br>b: 75.1%<br>c: 38.0% |  |
|     | 4 | 多肢選択<br>物理<br>(実験考察)  | 43.5%                 | 0.0%  | 43.5% | a: 64.7%<br>b: 37.0%<br>c: 32.6% |  |
|     | 5 | 計算<br>物理<br>(実験考察)    | 2.0%                  | 28.3% | 2.0%  | a: 4.3%<br>b: 2.1%<br>c: 0.0%    |  |
| 第五問 | 1 | 多肢選択<br>化学<br>(物質)    | 75.3%                 | 0.3%  | 75.3% | a: 96.6%<br>b: 85.6%<br>c: 46.4% |  |
|     | 2 | 記述<br>化学<br>(反応式)     | 73.0%                 | 1.5%  | 73.6% | a: 93.7%<br>b: 81.3%<br>c: 48.6% |  |
|     | 3 | 作図<br>化学<br>(グラフ)     | 88.5%                 | 2.8%  | 90.7% | a: 95.1%<br>b: 92.2%<br>c: 85.3% |  |
|     | 4 | 論述<br>化学<br>(実験考察)    | 21.5%                 | 11.8% | 24.3% | a: 50.0%<br>b: 24.0%<br>c: 3.1%  |  |
|     | 5 | 計算<br>化学<br>(実験考察)    | 24.3%                 | 13.5% | 24.3% | a: 37.1%<br>b: 24.7%<br>c: 13.0% |  |
| 計   |   |                       |                       |       |       | 58.5%                            | a: 76.3%<br>b: 61.5%<br>c: 40.1%             |

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

令和4年度  
公立高等学校入学者選抜学力検査問題  
理科

第一問 次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 図1は、ヒトの血液が体内を循環する経路を模式的に表したものです。あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。



- (1) 図1の血管Aを流れる、酸素を多くふくむ血液を何というか、答えなさい。
- (2) さまざまな物質をふくむ血液が、体内を循環することで、物質は器官に運ばれます。血液にふくまれる物質と、器官のはたらきについて述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 血小板中のヘモグロビンと結びついた酸素は、脳に運ばれ、細胞内で使われる。
- イ 血液にふくまれる二酸化炭素は、肝臓に運ばれ、無害なアンモニアに変わる。
- ウ 小腸で吸収された食物中の繊維は、肝臓に運ばれ、たくわえられる。
- エ 尿素などの不要な物質は、じん臓に運ばれ、血液中からとり除かれる。
- (3) 図1の血管Bには、ところどころに弁があります。この弁のはたらきを、簡潔に述べなさい。


2 宮城県に住む久美さんは、理科の学習の中で、自然と人間とのかかわりについて調べており、インターネットを利用して、伊豆大島に住む佐藤さんに質問しています。下の [ ] は、久美さんと佐藤さんの会話です。あとの(1)~(3)の問いに答えなさい。

伊豆大島には、現在も活動を続ける火山がありますが、伊豆大島に住む方々の生活は、火山とどのようなかかわりがありますか。


伊豆大島は、島全体が火山です。温泉は観光資源として、また、島に広く分布する、火成岩である玄武岩は、建材として活用されています。このように、火山の恵みを利用する一方、噴火により自然災害が発生し、被害を受けることもあります。

伊豆大島では、自然災害に備えて、何か取り組んでいることがありますか。


伊豆大島では、火山の特徴に加えて、島の地形や気象の特徴を調べ、ご覧のようなハザードマップを作成しています。さまざまな自然災害に備えるために、火山の特徴を理解し、ハザードマップを活用して、被害を減らすための計画を考えています。




久美さん



佐藤さん

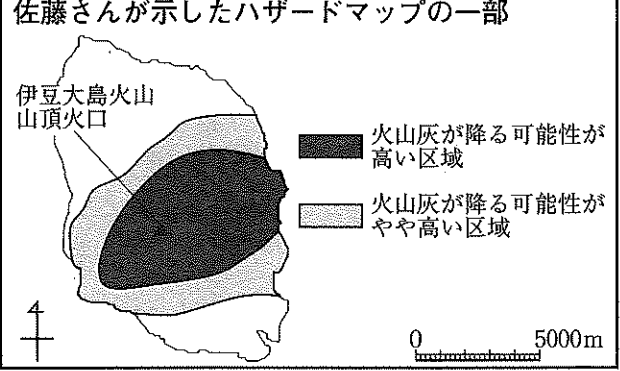


久美さん



佐藤さん

佐藤さんが示したハザードマップの一部



(「伊豆大島火山防災マップ」より作成)

(1) 下線部の玄武岩のように、マグマが地表付近まで運ばれ、地表や地表付近で短い時間で冷えて固まった火成岩を何というか、答えなさい。

(2) 下線部の玄武岩が、伊豆大島に広く分布していることから、伊豆大島火山から噴出した火山灰の特徴がわかります。火山灰にふくまれる鉱物の特徴と、火山灰の色の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ア 角張った鉱物が多い - 白っぽい | イ 丸みを帯びた鉱物が多い - 白っぽい |
| ウ 角張った鉱物が多い - 黒っぽい | エ 丸みを帯びた鉱物が多い - 黒っぽい |

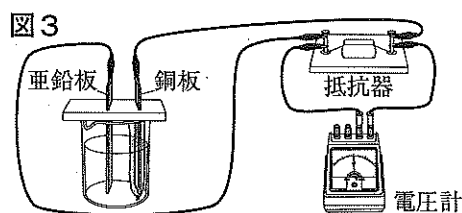
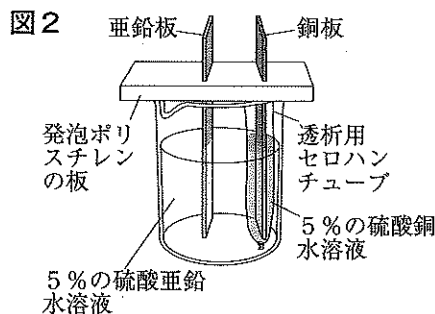
(3) 次の文章は、久美さんたちの会話とハザードマップをもとにして、伊豆大島火山の火山活動にともなって発生する可能性がある、自然災害について述べたものです。内容が正しくなるように、①のア、イ、②のウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

伊豆大島火山の地下にあるマグマのねばりけは① (ア 弱い イ 強い) ため、溶岩流が火山の斜面に沿って流れ、火口から離れたところまで、広がる可能性がある。また、伊豆大島の上空には、② (ウ 北西や南東 エ 北東や南西) の風がふくことが多く、島の北部や南部と比べて、東部や西部には、火山灰が降り積もる可能性が高い。

3 ダニエル電池をつくり、抵抗器に加わる電圧と、電極のようすを調べた実験について、あとの(1)～(6)の問いに答えなさい。

〔実験〕

- ① ビーカーに、5%の硫酸亜鉛水溶液と亜鉛板を入れた。
- ② 透析用セロハンチューブの片方を結んで閉じたものに、5%の硫酸銅水溶液と銅板を入れた。
- ③ 図2のように、②の透析用セロハンチューブを、①のビーカーの中の硫酸亜鉛水溶液に入れ、発泡ポリスチレンの板を使って2つの金属板を立てた。
- ④ 図3のように、③の金属板、40Ωの抵抗器、電圧計を導線でつなぎ、ダニエル電池をつくった。  
①電圧計の針はつねに <sup>プラス</sup> + 側にふれ、②電圧計の値は1.0Vを示した。しばらくした後、③銅板には赤い物質が付着した。



(1) 硫酸銅水溶液における水のように、物質をとかしている液体を溶媒といますが、硫酸銅水溶液における硫酸銅のように、溶液にとけている物質を何というか、答えなさい。

(2) 下線部①のようになったのは、図3の回路を流れた電流の向きが変わらなかったためです。このように、一定の向きに流れる電流を何というか、答えなさい。

(3) 図3の回路を流れた電流について述べたものとして、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア +極である亜鉛板から、導線や抵抗器を<sup>マイナス</sup>通って、-極である銅板に流れた。
- イ +極である銅板から、導線や抵抗器を<sup>プラス</sup>通って、+極である亜鉛板に流れた。
- ウ -極である亜鉛板から、導線や抵抗器を<sup>プラス</sup>通って、+極である銅板に流れた。
- エ -極である銅板から、導線や抵抗器を<sup>マイナス</sup>通って、-極である亜鉛板に流れた。

(4) 次の  は、④で、ダニエル電池によって外部に電気エネルギーをとり出したときの、エネルギーの変換を表したものです。( )に入る語句として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 光
- イ 弾性
- ウ 化学
- エ 熱

( ) エネルギー → 電気エネルギー

(5) 下線部②のとき、回路を流れた電流の大きさは何Aか、求めなさい。

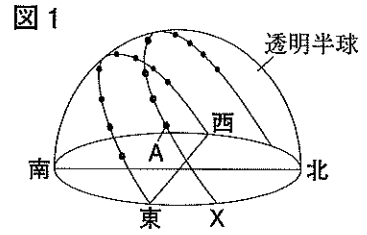
(6) 下線部③の赤い物質を集め、薬品さじでこすると、金属光沢が見られたことから、赤い物質は銅であることがわかりました。銅板に銅が付着した理由について述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 硫酸銅水溶液中の銅イオンが、陽子を失って銅となったから。
- イ 硫酸銅水溶液中の銅イオンが、電子を失って銅となったから。
- ウ 硫酸銅水溶液中の銅イオンが、陽子を受けとって銅となったから。
- エ 硫酸銅水溶液中の銅イオンが、電子を受けとって銅となったから。



第三問 宮城県内のある地点において、同じ年の夏至の日と秋分の日太陽の動きを調べた観察について、あとの1～4の問いに答えなさい。

〔観察〕 夏至の日と秋分の日8時から15時まで、1時間ごとに太陽の位置を観察し、その位置を●印で透明半球に記録した。図1のように、●印をなめらかな曲線で結び、この曲線を透明半球のふちまで延長して、透明半球上に太陽の通り道をかいた。さらに、夏至の日の曲線と透明半球のふちとの東側の交点をX点、夏至の日の8時の太陽の位置をA点とした。

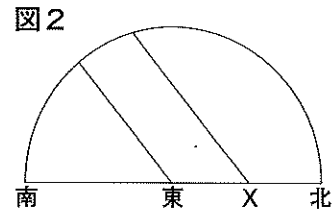


- 1 太陽などの天体は、地球から天体までの距離が非常に遠いため、観測者を中心とした大きな球体の天井にはりついているように見えます。この見かけ上の球体の天井を何というか、答えなさい。
- 2 観察の結果について説明した次の文章の内容が正しくなるように、①のア、イ、②のウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

透明半球上で、●印は東から西に向かうように記録された。これは、地球が①（ア 西から東、イ 東から西）へ自転しているためである。また、夏至の日と秋分の日南中時刻が、12時より②（ウ 前、エ 後）だったのは、観測地点が兵庫県明石市より東に位置するためである。

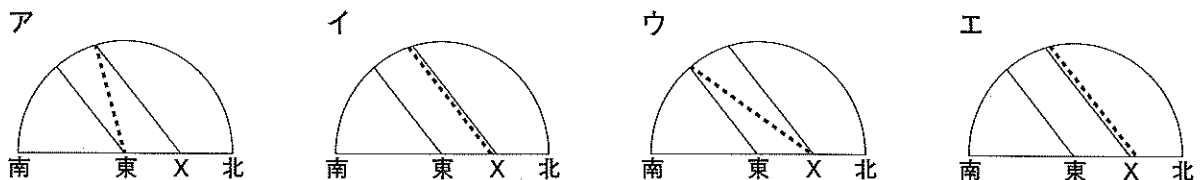
- 3 図1で、A点とX点の間の弧の長さは8.7cm、夏至の日の、1時間ごとの●印の間の弧の長さは2.3cmでした。夏至の日の、日の出の時刻は、何時何分だったと考えられるか、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 3時47分                      イ 4時13分                      ウ 4時47分                      エ 5時13分

- 4 図2は、図1の透明半球を東側から真横に見たものです。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。ただし、図2では、図1にある●印を省略しています。



- (1) 図2で、夏至の日から秋分の日にかけての、太陽の通り道の変化について述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 南中高度は高くなり、日の出の位置は北寄りになっていった。  
イ 南中高度は高くなり、日の出の位置は南寄りになっていった。  
ウ 南中高度は低くなり、日の出の位置は北寄りになっていった。  
エ 南中高度は低くなり、日の出の位置は南寄りになっていった。

- (2) 現在、地球は、公転面に垂直な方向に対して地軸を $23.4^\circ$ 傾けて公転しています。この地軸の傾きは、約4万年から5万年の周期で少しずつ変化しています。地軸の傾きが $22^\circ$ になったときの、夏至の日の太陽の通り道を、図2に太い点線(-----)でかき入れたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。ただし、観察と同じ地点で太陽の動きを調べ、地球の地軸の傾き以外の変化は考えないものとします。





第四問 ばねに加わる力の大きさと、ばねののびとの関係について調べた実験Ⅰ、Ⅱについて、あとの1～5の問いに答えなさい。ただし、質量100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとし、ばねの質量や力学台車にはたらく摩擦は考えないものとします。

〔実験Ⅰ〕

- ① 図1のように、長さが10.0cmのばねAを、スタンドに固定したつり棒につり下げた。
- ② ばねAの下端に、質量が50gのおもりを1個ずつつるしていき、つるすおもりを増やすたびに、ばねAとおもりが静止した状態で、ばねAののびをものさしで測定した。
- ③ ばねAを、長さが10.0cmのばねBにかえ、②と同様にして、ばねBののびを測定した。
- ④ ②と③の結果をもとに、ばねAとばねBのそれぞれについて、ばねに加わる力の大きさとばねののびとの関係をグラフにまとめたところ、図2のようになった。

図1

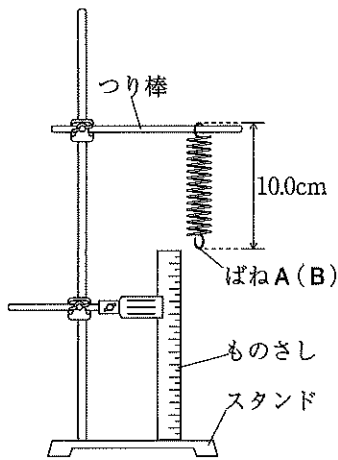
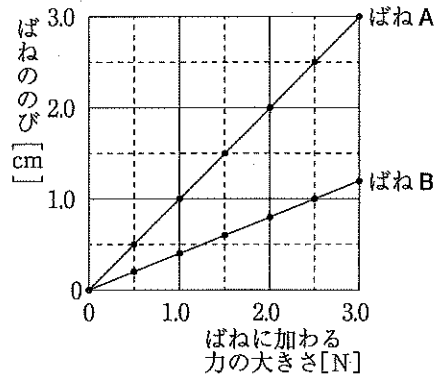


図2



〔実験Ⅱ〕

- ① 図3のように、水平な台の上に置いた斜面上に質量が500gの力学台車aを置き、実験Ⅰで使用したばねAをつないで斜面に沿って上向きに引き、力学台車aを斜面上に静止させたとき、ばねAの長さは13.0cmであった。
- ② 図4のように、水平な台の上に置いた、①と同じ傾きの斜面上に質量が1000gの力学台車bを置き、実験Ⅰで使用したばねBをつないで斜面に沿って上向きに引き、力学台車bを斜面上に静止させたとき、ばねBの長さは12.4cmであった。

図3

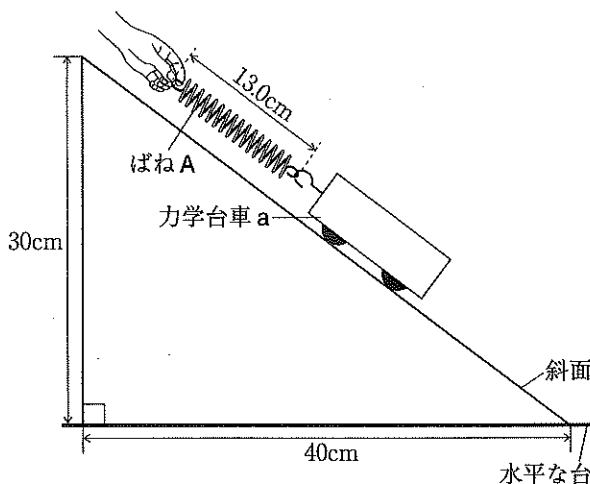
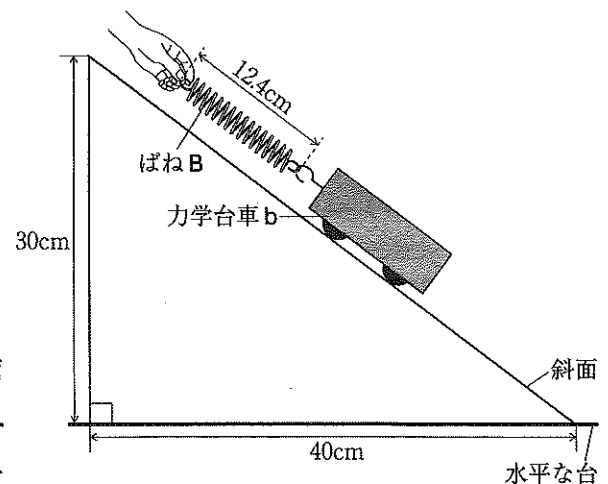


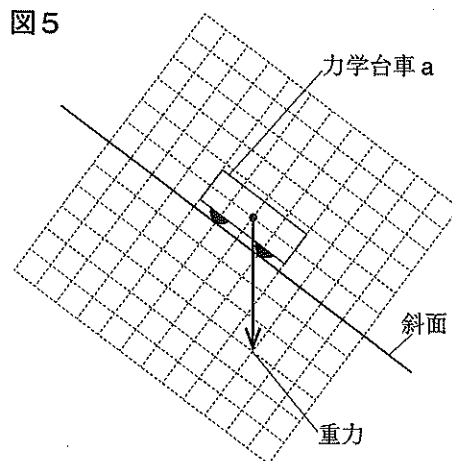
図4



- 1 実験Ⅰで、ばねに力を加えるとばねがのびたことと共通する、力のはたらきによる物体のようすの変化について述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア ボールを机の上ののせると、ボールは静止した。
  - イ ボールを机におしつけると、ボールの形が変わった。
  - ウ ボールを落とすと、ボールは速さを増しながら落下した。
  - エ ボールを机の上で転がすと、ボールは少し転がって止まった。

2 実験Ⅰの③で、ばねBに加わる力の大きさが3.0Nのとき、ばねBののびは何cmか、求めなさい。

- 3 図5は、実験Ⅱの①で、斜面上に置いた力学台車aにはたらく重力を、力の矢印で表したものです。力学台車aにはたらく重力を、斜面下向きの分力と斜面に垂直な分力に分解し、解答用紙の図に力の矢印で表しなさい。



- 4 実験Ⅱで、力学台車aにはたらく重力の斜面下向きの分力の大きさをX、力学台車bにはたらく重力の斜面下向きの分力の大きさをYとします。X、Yの値について述べたものとして、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 図3の斜面の傾きと図4の斜面の傾きは等しいため、XとYは同じ値である。
- イ 力学台車aと力学台車bは、どちらも斜面上に静止しているため、XとYは同じ値である。
- ウ 力学台車bの重さは、力学台車aの重さの2倍なので、YはXの2倍の値である。
- エ ばねBののびは、ばねAののびの0.8倍なので、YはXの0.8倍の値である。

- 5 実験Ⅱの①の状態の力学台車aに、質量が100gのおもりを1個ずつ固定していき、固定するおもりを増やすたびに、力学台車aを斜面上に静止させ、ばねAの長さを測定します。また、実験Ⅱの②の状態の力学台車bに、質量が200gのおもりを1個ずつ固定していき、固定するおもりを増やすたびに、力学台車bを斜面上に静止させ、ばねBの長さを測定します。このとき、力学台車a、bに固定したおもりが、それぞれある個数の場合に、ばねAののびと、ばねBののびが等しくなることがあります。このうちで、ばねA、Bののびが最も小さいとき、ばねA、Bののびは何cmか、求めなさい。

第五問 うすい塩化バリウム水溶液に、うすい硫酸を加えたときの変化を調べた実験について、あとの1～5の問いに答えなさい。

〔実験〕

- ① ビーカーA, B, C, D, Eに、うすい塩化バリウム水溶液を同じ試薬びんから、 $50.0\text{cm}^3$ ずつはかりとった。
- ② うすい硫酸を同じ試薬びんから、ビーカーAには $10.0\text{cm}^3$ 、ビーカーBには $20.0\text{cm}^3$ 、ビーカーCには $30.0\text{cm}^3$ 、ビーカーDには $40.0\text{cm}^3$ 、ビーカーEには $50.0\text{cm}^3$ 加え、十分に反応させると、ビーカーA～Eのそれぞれで硫酸バリウムの白色沈殿が生じた。
- ③ ビーカーA～Eのそれぞれの液をよくかき混ぜ、硫酸バリウムがビーカーに残らないようにろ過した。次に、それぞれのろ紙に残った硫酸バリウムをよく乾燥させ、硫酸バリウムだけの質量を測定した。
- ④ ③の結果を、表にまとめた。

表

|                            | ビーカーA | ビーカーB | ビーカーC | ビーカーD | ビーカーE |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| うすい硫酸の体積 [ $\text{cm}^3$ ] | 10.0  | 20.0  | 30.0  | 40.0  | 50.0  |
| 硫酸バリウムの質量 [g]              | 0.50  | 1.00  | 1.50  | 1.50  | 1.50  |

- 1 硫酸バリウムのように、2種類以上の原子でできている物質を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 水素                      イ アンモニア                      ウ 硫黄                      エ マグネシウム
- 2 実験における、塩化バリウムと硫酸の反応を化学反応式で表すとき、次の①にあてはまる化学式を答えなさい。  
$$\text{BaCl}_2 + \text{H}_2\text{SO}_4 \rightarrow 2\text{①} + \text{BaSO}_4$$
- 3 表をもとに、加えたうすい硫酸の体積と生じた硫酸バリウムの質量との関係を表すグラフを、解答用紙の図にかき入れなさい。
- 4 表から、ビーカーC, D, Eのそれぞれに生じた硫酸バリウムの質量が等しいことがわかります。生じた硫酸バリウムの質量が等しくなった理由を、簡潔に述べなさい。
- 5 新たに準備したビーカーFに、①の試薬びんからうすい塩化バリウム水溶液を $45.0\text{cm}^3$ はかりとりました。次に、②の試薬びんからうすい硫酸 $25.0\text{cm}^3$ をビーカーFに加え、十分に反応させました。このときに生じる硫酸バリウムの質量は何gか、求めなさい。

| 備考欄 | 配点 | 第一問 |                  |
|-----|----|-----|------------------|
|     | 36 |     |                  |
|     | 3  | (1) | 動脈血              |
|     | 3  | (2) | エ                |
|     | 3  | (3) | (例) 血液の逆流を防いでいる。 |
|     | 3  | (1) | 火山岩              |
|     | 3  | (2) | ウ                |
|     | 3  | (3) | ①( ア ) ②( エ )    |
|     | 3  | (1) | 溶質               |
|     | 3  | (2) | 直流               |
|     | 3  | (3) | イ                |
|     | 3  | (4) | ウ                |
|     | 3  | (5) | 0.025 [A]        |
|     | 3  | (6) | エ                |

| 備考欄 | 配点 | 第二問 |  |
|-----|----|-----|--|
|     | 16 |     |  |
|     | 3  | 1   | 葉緑体  |
|     | 3  | 2   | エ  |
|     | 3  | 3   | ウ  |
|     | 3  | 4   | ①( ア ) ②( ウ ) ③( カ )                                 |
|     | 4  | 5   | [条件]<br>(例) オオカナダモを入れない。<br>[観察結果]<br>(例) 緑色から変化しない。 |

| 備考欄 | 配点 | 第三問 |               |
|-----|----|-----|---------------|
|     | 16 |     |               |
|     | 3  | 1   | 天球            |
|     | 3  | 2   | ①( ア ) ②( ウ ) |
|     | 3  | 3   | イ             |
|     | 3  | (1) | エ             |
|     | 4  | (2) | イ             |

| 備考欄 | 配点 | 第四問 |          |
|-----|----|-----|----------|
|     | 16 |     |          |
|     | 3  | 1   | イ        |
|     | 3  | 2   | 1.2 [cm] |
|     | 3  | 3   |          |
|     | 3  | 4   | ウ        |
|     | 4  | 5   | 4.8 [cm] |

| 備考欄 | 配点 | 第五問 |  |
|-----|----|-----|--|
|     | 16 |     |  |
|     | 3  | 1   | イ  |
|     | 3  | 2   | HCl  |
|     | 3  | 3   |  |
|     | 3  | 4   | (例) ビーカーC, D, Eに入っている塩化バリウムが、すべて硫酸と反応したから。 |
|     | 4  | 5   | 1.25 [g]                                   |

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

## 1 出題のねらいと内容

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識、それらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと及び書くことによるコミュニケーションにおいて活用する技能並びに情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、絵を見ながら英語を聞き内容を理解する力、会話の流れに沿って適切に応答する力、会話を聞いて内容を理解し質問に適切に応答する力及び短い会話を聞いて場面を捉え質問に対して即興で適切に応答する力をみようとした。

第二問では、短い会話を通して、基本的な文法・語法に関する知識と語彙力及び基本的

な英文を構成する力をみようとした。

第三問では、中学生が感情をノートに書くことでの気付きについて述べたスピーチを素材とし、英文の内容を正確に読み取り、要旨を的確に捉える力をみようとした。

第四問では、3人の職業人が中高生に自分の仕事を紹介した英文を素材とし、概要や要点を的確に捉えながら、書き手が伝えようとする内容を読み取る力をみようとした。

第五問では、交換留学生のために行う歓迎会の内容について交わされる会話を素材とし、自分の考えやその理由を相手に伝えるように英語で適切に表現する力をみようとした。

## 2 結果の考察

<第一問>聞き取った英語の内容理解をみる問題

英語を聞いて概要や要点を適切に捉える力に課題

問題1 1番 説明を聞いて情報を適切に捉える力をみる問題であったが、誤答であるアの選択率が48.3%に上った。不定詞を含む英文を聞き取った上で意味を正しく捉えることは難易度が高かったと思われる。文法事項については、実際の場面を想定した様々な言語活動の中で繰り返し指導することが求められる。

問題3 1番 会話を聞いて概要を適切に捉える力をみる問題であったが、正答率が47.3%にとどまった。会話中のsisterと正答の選択肢のhis family memberが対応すると判断できなかったことが一因と考えられる。聞き取った内容を英語で説明するなど、概要や要点を把握する力を育成する活動の工夫が望まれる。

問題4 “What are you...?”の問いかけに対して、表記の面では適切な応答であるが、内容の面では会話の状況に合わないものが多く見られた。会話の流れを正しく把握し適切に応じる力を養うために、即興で互いに質問し合いながら英語でやり取りをする言語活動を一層充実させたい。

<第二問>基本的な文法・語法に関する知識・理解と語彙力及び基本的な英文を構成する力をみる問題

基本的な文法や文構造を理解し英文を構成する力に課題

1 (1) be動詞の過去形の疑問文に関する基本的な問題であったが、誤答であるアのDidの選択率が48.5%を占めた。基本的な文法事項については、実際に使用する中で生徒の気付きを促す指導を十分に行うことが求められる。

3 (2) 副詞の最上級を含む英文を構成する力をみる問題であったが、正答率は41.5%であった。“like spring the best”の部分を正しく構成しているものは、誤答の14.0%にとどまり、基本的な語順の定着に課題がみられた。必然性のある文脈の中で、自分の気持ちや考えを特定の言語形式を用いて表現するなどの活動を通して、学習内容の習熟を図りたい。

＜第三問＞英文の内容を的確に読み取る力及び英文の要旨を正確につかむ力をみる問題

英文の要旨を正確につかむ力に課題

5 スピーチの話し手が伝えたいことを的確に把握する力をみる問題であったが、正答率が17.5%にとどまった。正答に近い内容の語句を抜き出すことができたものは、誤答の10.7%であった。誤答の大半がfindの目的語として不適切なもので、文構造の理解にも課題が残った。a層においては、あらすじを捉える力をみる4の得点率が81.0%であるのに対し、本問題の得点率は46.6%で、要旨を英語で表現する力に課題がみられた。c層では無答率が44.9%に達し、4の得点率も低くなったことから、スピーチの内容を適切に捉えられていないと推察される。英文のキーワードを確認し、それらを基に全体の内容を英語でまとめるなどの言語活動を取り入れることで、要旨の読み取り方を丁寧に指導していきたい。

＜第四問＞概要や要点を的確に捉え、書き手が伝えようとする内容を正確に読み取る力をみる問題

必要な情報を正確に読み取る力に課題

2 英文の要点を的確に捉える力をみる問題であったが、正答率は全問題を通して最低の10.0%であった。誤答の64.8%が、解答に必

要な情報の在処を捉えられていないものであった。b・c層では、英文の意味そのものを適切に理解していないと思われる誤答が見られ、語彙や文法の理解が十分ではないと推察される。読んだ内容について、英語で情報を説明したり自分の考えを述べたりするなど、読む力を伸長する技能統合型の活動が期待される。

3 (2) 無答率は全問題を通して最も高く、24.5%であった。b層の誤答においては30.8%、c層の誤答においては52.1%が、情報の在処を捉えることができていなかった。a層の誤答では、情報の在処を把握しているものの、動詞の語形や人称代名詞に正確さを欠くものが多く見られた。必要な情報や大切な部分を的確に捉えられるように、発問や評価問題を工夫して指導することが求められる。

＜第五問＞自分の考えやその理由が相手に伝わるように英語で適切に表現する力をみる問題

自分の考えが正しく伝わるように書くことに課題

1 得点率が40.8%と、昨年度より13.5ポイント上昇した。誤答の37.1%では、疑問詞を含む疑問文の語順に誤りがあった。英語のやり取りでは、基本的な文法事項について、正確な理解を確認した上で運用させていきたい。

2 無答を除く答案を分析すると、73.3%が内容点を得ており、意欲的に解答する姿勢がうかがえた。無答率は23.8%で、過去2年の出題で扱った、2つの選択肢から1つを選ぶ形式よりも上昇した。c層の無答率は53.7%で、場面を的確に把握した上で、自分の考えを適切に書くことに課題がみられた。既習の知識を活用して自分の考えを理由とともに相手に正しく伝わるように発信する力を育成する多様な言語活動が求められる。

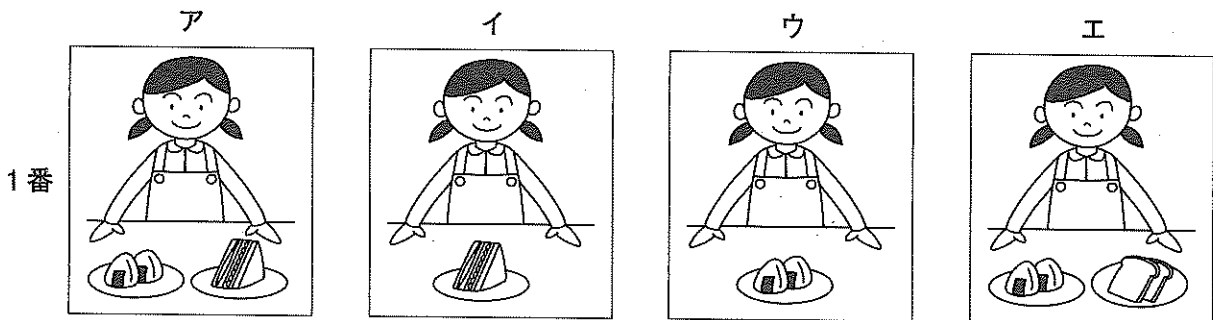
| 問題       |     |          | 正答率 →         | ← 無答率 | 得点率   | 調査書総点別得点率<br>(a:135~111点 b:110~88点 c:87~44点) |                                   |                                  |
|----------|-----|----------|---------------|-------|-------|--|-----------------------------------|----------------------------------|
| 第一問      | 問題1 | 1番 多肢選択  | リスニング<br>内容把握 | 47.8% | 0.0%  | 47.8%  | a: 68.1%<br>b: 49.3%<br>c: 39.0%  |                                  |
|          |     | 2番 多肢選択  | リスニング<br>内容把握 | 71.3% | 0.0%  | 71.3%  | a: 93.1%<br>b: 76.7%<br>c: 47.1%  |                                  |
|          | 問題2 | 1番 多肢選択  | リスニング<br>内容把握 | 92.0% | 0.0%  | 92.0%  | a: 100.0%<br>b: 98.0%<br>c: 79.0% |                                  |
|          |     | 2番 多肢選択  | リスニング<br>内容把握 | 84.0% | 0.0%  | 84.0%  | a: 100.0%<br>b: 93.2%<br>c: 60.9% |                                  |
|          | 問題3 | 1番 多肢選択  | リスニング<br>内容把握 | 47.3% | 0.0%  | 47.3%  | a: 77.6%<br>b: 44.5%<br>c: 24.6%  |                                  |
|          |     | 2番 多肢選択  | リスニング<br>内容把握 | 68.3% | 0.0%  | 68.3%  | a: 86.8%<br>b: 68.5%<br>c: 50.7%  |                                  |
|          |     | 3番 多肢選択  | リスニング<br>内容把握 | 80.8% | 0.0%  | 80.8%  | a: 92.2%<br>b: 80.8%<br>c: 71.0%  |                                  |
|          | 問題4 | 英文記述     | リスニング<br>応答文  | 45.0% | 8.5%  | 59.2%  | a: 90.3%<br>b: 69.0%<br>c: 22.6%  |                                  |
|          | 第二問 | 1        | (1) 多肢選択      | 文法    | 34.5% | 0.0%   | 34.5%                             | a: 58.6%<br>b: 27.4%<br>c: 21.7% |
|          |     |          | (2) 多肢選択      | 文法    | 78.5% | 0.0%   | 78.5%                             | a: 97.4%<br>b: 87.7%<br>c: 52.0% |
| (3) 多肢選択 |     |          | 語彙            | 86.8% | 0.0%  | 86.8%  | a: 100.0%<br>b: 95.9%<br>c: 65.9% |                                  |
| 2        |     | (1) 語記述  | 語彙            | 40.0% | 2.8%  | 45.3%  | a: 77.3%<br>b: 45.9%<br>c: 17.6%  |                                  |
|          |     | (2) 語記述  | 語彙            | 46.5% | 6.0%  | 46.7%  | a: 81.9%<br>b: 51.1%<br>c: 12.3%  |                                  |
| 3        |     | (1) 語順整序 | 文法            | 76.3% | 0.5%  | 76.8%  | a: 98.3%<br>b: 82.9%<br>c: 52.2%  |                                  |
|          |     | (2) 語順整序 | 文法            | 41.5% | 0.5%  | 41.9%  | a: 75.9%<br>b: 39.7%<br>c: 15.6%  |                                  |
| 第三問      |     | 1        | 和文論述          | 内容理解  | 28.3% | 8.8%   | 39.8%                             | a: 71.8%<br>b: 42.0%<br>c: 10.1% |
|          | 2   | 英文記述     | 内容理解          | 14.5% | 20.8% | 32.6%  | a: 62.3%<br>b: 33.4%<br>c: 6.7%   |                                  |
|          | 3   | 多肢選択     | 内容理解          | 78.0% | 0.0%  | 78.0%  | a: 98.3%<br>b: 82.9%<br>c: 55.8%  |                                  |
|          | 4   | 英文整序     | 本文の<br>要旨     | 45.0% | 0.8%  | 45.0%  | a: 81.0%<br>b: 48.2%<br>c: 16.7%  |                                  |
|          | 5   | 語記述      | 本文の<br>要旨     | 17.5% | 24.0% | 17.5%  | a: 46.6%<br>b: 8.9%<br>c: 2.2%    |                                  |
| 第四問      | 1   | 多肢選択     | 内容理解          | 42.3% | 0.0%  | 42.3%  | a: 66.4%<br>b: 41.1%<br>c: 23.2%  |                                  |
|          |     | 和文論述     | 内容理解          | 10.0% | 20.8% | 25.4%  | a: 50.7%<br>b: 22.8%<br>c: 6.9%   |                                  |
|          | 3   | (1) 英文記述 | 内容理解          | 28.8% | 13.5% | 47.1%  | a: 83.0%<br>b: 51.5%<br>c: 12.3%  |                                  |
|          |     | (2) 英文記述 | 内容理解          | 34.5% | 24.5% | 49.1%  | a: 88.6%<br>b: 52.7%<br>c: 12.0%  |                                  |
|          | 4   | (1) 多肢選択 | 本文の<br>要旨     | 50.0% | 0.0%  | 50.0%  | a: 87.9%<br>b: 45.9%<br>c: 22.5%  |                                  |
|          |     | (2) 多肢選択 | 本文の<br>要旨     | 60.0% | 0.5%  | 60.0%  | a: 88.6%<br>b: 58.9%<br>c: 37.0%  |                                  |
|          |     | (3) 多肢選択 | 本文の<br>要旨     | 61.5% | 1.5%  | 61.5%  | a: 86.2%<br>b: 59.6%<br>c: 42.8%  |                                  |
|          |     | (4) 多肢選択 | 本文の<br>要旨     | 72.0% | 1.3%  | 72.0%  | a: 95.7%<br>b: 76.0%<br>c: 47.8%  |                                  |
| 第五問      | 1   | 英文記述     | 英作文           | 22.0% | 19.9% | 40.8%  | a: 61.6%<br>b: 52.1%<br>c: 11.1%  |                                  |
|          | 2   | 英文記述     | 英作文           | 11.5% | 23.8% | 39.8%  | a: 68.9%<br>b: 46.2%<br>c: 8.5%   |                                  |
| 計        |     |          |               |       | 53.6% | a: 80.4%<br>b: 56.0%<br>c: 28.5%             |                                   |                                  |

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

令和4年度  
公立高等学校入学者選抜学力検査問題  
英語

第一問 (放送によるテスト) 次の問題1から問題4に答えなさい。

問題1 英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。



2番

| 来週の予定 |        |
|-------|--------|
| 月     |        |
| 火     |        |
| 水     | サッカー観戦 |
| 木     | ピアノ教室  |
| 金     |        |

| 来週の予定 |        |
|-------|--------|
| 月     |        |
| 火     | サッカー観戦 |
| 水     | ピアノ教室  |
| 木     |        |
| 金     |        |

| 来週の予定 |        |
|-------|--------|
| 月     |        |
| 火     | ピアノ教室  |
| 水     |        |
| 木     | サッカー観戦 |
| 金     |        |

| 来週の予定 |        |
|-------|--------|
| 月     |        |
| 火     | サッカー観戦 |
| 水     |        |
| 木     | ピアノ教室  |
| 金     |        |

第一問 (放送によるテスト) は、次のページにつづきます。



問題2 太郎 (Taro) とサリー (Sally) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進みます。  に入る発言として最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。会話の  のところでは、チャイム音が鳴ります。

1番 Taro: .....  
Sally: .....  
Taro: .....  
Sally:  (チャイム音)

- ア It was too big for me.
- イ It was 1,000 yen.
- ウ I bought it at a sports shop.
- エ I thought it was nice.

2番 Taro: .....  
Sally: .....  
Taro: .....  
Sally:  (チャイム音)

- ア I don't have good news today.
- イ Our favorite singer will come to our city.
- ウ We watch TV every morning.
- エ I have never heard about the news.

問題3 聡太 (Sota) と留学生のジェーン (Jane) が会話をします。そのあとで会話について3つの質問をします。それらの質問に対する答えとして最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。

- 1番
- ア To see his family member.
  - イ To clean the beach.
  - ウ To study English.
  - エ To stay with Jane's family.

- 2番
- ア Sota should study English with his sister.
  - イ Sota should talk more with his father.
  - ウ Sota shouldn't go swimming in the sea.
  - エ Sota shouldn't walk along the beach.

- 3番
- ア He can visit a lot of famous places with his family.
  - イ He can learn how to swim in the cold weather.
  - ウ He can have a good time without watching the sea.
  - エ He can talk with his family and watch the beautiful sea together.

問題4 ジャック (Jack) と彩 (Aya) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進み、ジャックが彩に質問をします。彩になったつもりで、に入る適切な発言を考えて、英語で解答用紙に書きなさい。会話の  のところでは、チャイム音が鳴ります。

Jack: . . . . .

Aya: . . . . .

Jack: . . . . .

Aya:  (チャイム音)

第一問 (放送によるテスト) は、ここまでです。

第二問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の二人の会話が成立するように、( )に入る最も適切なものを、それぞれあとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

(1) Kelly: ( ) you late for school yesterday?  
 Nana: Yes. I had to go to the hospital.  
 ア Did            イ Could            ウ Would            エ Were

(2) John: Who is the tall boy over there?  
 Kei: He is my brother, Kazuyuki. Everyone calls ( ) Kazu.  
 ア his            イ him            ウ we            エ our

(3) Tom: Let's watch a movie at my house this evening.  
 Naoya: Sorry, Tom. I need to take care ( ) my dog.  
 ア after            イ on            ウ of            エ in

2 次の(1), (2)の二人の会話が成立するように, ( ) に入る適切な英語を, それぞれ1語書きなさい。ただし, 答えはすべて ( ) 内に示された文字で書き始めなさい。

(1) *Child:* Mom, I'm hungry. Can I eat this apple?  
*Mother:* Yes. Have you ( w ) your hands?

(2) *Hayato:* You have visited many countries, right?  
*Steven:* Yes. For ( e ), I've visited France, Spain and India.

3 次の(1), (2)の二人の会話が成立するように, ( ) 内の語句を正しい順に並べかえ, (1)はア~エ, (2)はア~オの記号で答えなさい。ただし, 文頭にくる語も小文字で示しています。

(1) *Yumi:* Nancy, if it's sunny tomorrow, let's take a walk in the park. It'll be fun.  
*Nancy:* Sounds interesting. ( ア do イ time ウ you エ what )  
want me to get to the park?

(2) *David:* Akito, look at those cherry blossoms!  
*Akito:* They are beautiful. I ( ア of イ like ウ all エ the best  
オ spring ) seasons.

第 三 問 次の英文は, 中学生の友美 (Tomomi) が, 英語の授業でスピーチをしたときのものです。この英文を読んで, あとの1~5の問いに答えなさい。

I moved to this town just after summer vacation. I didn't know anyone in this school, so I wanted to make friends. I tried to talk to my classmates on my first day of this school, but ① I couldn't. I was too nervous to talk to them. I felt lonely and sad.

After school on that day, Mr. Saito, my homeroom teacher, came to me. He said, "Tomomi, you look sad. If you're worried about something, you can always talk to me." I was glad to hear that and wanted to tell him about my feelings. However, it was difficult for me. Then he said, "When you can't talk about your feelings, I want you to write about them in a notebook. If you write about what happened to you and how you felt about it, you can sort your feelings out."

After talking with Mr. Saito, I saw one of my classmates. She said, "See you, Tomomi." I was happy to hear that, but I couldn't say anything. I felt bad for her, but I didn't know what to do. That night, I remembered Mr. Saito's advice. I opened my notebook and started to write about what happened to me and how I felt about it. When I finished writing, I realized one thing. She called my name, but I didn't know ② hers. I wanted to make friends in the classroom, but I didn't even try to learn about my classmates. Then I found what I should do. I decided to talk to her and ask her name.

The next morning, I saw the girl near our school. I was still nervous, but I knew what I should do then. I said to her, "Hi! Thank you for talking to me yesterday. Can I ask your name?" Her name was Masako. We walked to school together and talked a lot. I made my first friend in this school.

From this experience, I learned that writing about my feelings is an effective way to sort them out. By sorting my feelings out, I could see my problem from a different viewpoint. It helped me find what to do to solve the problem. When you have a problem, I want you to remember my speech.

<注> move(d) 引っ越す    lonely さびしい    homeroom teacher 担任の先生  
worried about~ ~を心配して    sort(ing)~out ~を整理する  
felt bad ← feel bad 申し訳なく思う    advice 助言    realize(d)~ ~に気がつく  
viewpoint 視点

1 下線部①のような状況になった理由を、具体的に日本語で書きなさい。

2 次の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英語で書きなさい。

What did Mr. Saito want Tomomi to do when she couldn't talk about her feelings?

3 下線部②が示す内容として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア her advice    イ her classroom    ウ her notebook    エ her name

4 次のア～オを友美のスピーチの流れに合うように並べかえ、記号で答えなさい。

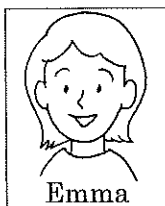
- ア Tomomi made a new friend in the new school.
- イ Tomomi felt bad because she couldn't talk to the girl.
- ウ Tomomi wrote about how she felt in a notebook.
- エ Mr. Saito gave advice to Tomomi because she looked sad.
- オ Tomomi didn't have any friends on her first day of school.

5 次の英文は、友美のスピーチを聞いたクラスメートが書いた感想文です。本文の内容をふまえて、

に入る最も適切なひとつづきの英語4語を、本文中から抜き出して書きなさい。

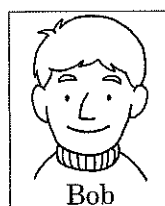
Tomomi's speech was good. From her speech, I learned one thing. It is important to write about my feelings and sort them out when I have a problem. By doing so, I will find

第四問 次の英文は、中高生にさまざまな職業を紹介するウェブサイトに掲載されていたものです。これらの英文を読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。



Emma

I work at a toy company in America. I make stuffed animals there. I like to make things with my hands, so I enjoy this job. I learned something interesting about my job. Police officers in my city carry stuffed animals in their patrol cars for small children. ① They are used because small children may be afraid of police officers. Even when children are crying, stuffed animals can make children relieved. I didn't know about this. I also learned that all the patrol cars in my city carry the stuffed animals my company made. The stuffed animals that I make connect the police officers and the children in my city and make them happy. I'm so proud of my job.



Bob

I started working as a chef five years ago. My restaurant is in a small town of the U.K. It is different from other restaurants. At my restaurant, I use the vegetables that local farmers can't sell because of their strange shapes. One day, one of the local farmers said to me, "Thank you for using my vegetables. I'm happy because I'm always working hard to grow them. They don't look good, but they taste good." When I heard this, I also felt happy. I'm supporting the local farmers through my job, and ② I'm also supported by them. I can make delicious food by using their vegetables for my customers. I'm glad to see the happy faces of both the local farmers and my customers.



Lily

When I was a student, I worked as a volunteer for blind people. I read books aloud for them. I still remember the first person I helped. She didn't look happy when I was reading a book aloud. Later, I recorded my voice and listened to it. Then I found that I was speaking too fast and my voice was small. The story I read aloud was interesting, but it didn't sound interesting. I understood why she wasn't happy. To improve my reading, I started to practice reading books aloud. Now I work at a company that makes audiobooks in Canada. I've been working for 15 years, but I still practice reading stories aloud every day to be a good reader. I believe that blind people can feel happy when they listen to their favorite audiobooks.

<注> stuffed animal(s) 動物のぬいぐるみ patrol car(s) パトカー  
 afraid of~ ~を恐れて relieved 安心した connect~ ~を結びつける  
 proud of~ ~を誇りに思って volunteer ボランティア  
 blind 目の不自由な aloud 声に出して record(ed)~ ~を録音する  
 audiobook(s) オーディオブック。本の朗読を録音したもの。 reader 朗読者

- 下線部①が示す内容として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
 ア small children イ stuffed animals ウ police officers エ patrol cars
- 下線部②のようにボブ (Bob) が考える理由を、本文の内容から具体的に日本語で書きなさい。

3 次の(1), (2)の質問に対する答えを, 本文の内容に合うように英語で書きなさい。

- (1) Why does Emma enjoy her job at the company?
- (2) What did Lily find when she recorded her voice and listened to it?

4 次の英文は, このウェブサイトを見たパウロ (Paulo) と春香 (Haruka) の会話です。本文の内容をふまえて, あとの(1)~(4)の問いに答えなさい。

*Paulo:* These stories gave me a chance to think about my future job.

*Haruka:* I agree. I'm interested in Emma's job because I like making clothes with my hands.

*Paulo:* She didn't know that her stuffed animals were used by police officers. I learned our job may be ( A ) to someone we never imagine.

*Haruka:* That's true. I was interested in Bob's way of working. He thinks about not only ( B ) but also ( C ) .

*Paulo:* That's right. I learned an important thing from Lily's story. We should do our best to improve our job skills. Lily does it by [ D ] .

*Haruka:* These three people have different jobs, but they're sending us the same message, " [ E ] ."

<注> chance 機会 job skill(s) 仕事の技能

(1) ( A ) に入る最も適切なものを, 次のア~エから1つ選び, 記号で答えなさい。

- ア famous                      イ popular                      ウ helpful                      エ difficult

(2) ( B ), ( C ) に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを, 次のア~エから1つ選び, 記号で答えなさい。

- ア ( B ) his restaurant                      —                      ( C ) other restaurants  
イ ( B ) his customers                      —                      ( C ) local farmers  
ウ ( B ) his customers                      —                      ( C ) other restaurants  
エ ( B ) other restaurants                      —                      ( C ) local farmers

(3) [ D ] に入る最も適切なものを, 次のア~エから1つ選び, 記号で答えなさい。

- ア talking with her customers                      イ practicing reading stories aloud every day  
ウ writing her own stories                      エ listening to interesting stories

(4) [ E ] に入る最も適切なものを, 次のア~エから1つ選び, 記号で答えなさい。

- ア It is necessary to make things with our hands  
イ We should start a new company for local people  
ウ Working as a volunteer will be a good experience  
エ Our jobs can make other people happy

第五問 高校生の果歩（Kaho）と、果歩の高校に留学しているマイク（Mike）が、次のような会話をしています。この英文を読んで、あとの1, 2の問いに答えなさい。

*Kaho:* A new exchange student is going to come to our class next month.

*Mike:* I know! Her name is Alice, right? I'm very excited.

*Kaho:* Do you know anything about her?

*Mike:* Yes, a little. I heard about her from our English teacher. She is interested in Japanese culture.

*Kaho:*

*Mike:* She likes Japanese comics. So she studies Japanese.

*Kaho:* Oh, really? Then, let's have a welcome party for her.

*Mike:* That will be nice. Kaho, what do you want to do for her at the party?

*Kaho:*

<注> exchange student 交換留学生

1 二人の会話が成立するように、本文中の  に入る英語を1文書きなさい。

2 二人の会話が成立するように、本文中の  に3文以上の英語を書きなさい。





これから、第一問の放送によるテストを行います。放送を聞いて問題1から問題4に答えなさい。  
放送中に問題用紙にメモをとってもかまいません。

問題1, 英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から  
1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。英語は、それぞれ2回放送されます。では、始めます。

1番 I didn't have bread to make some sandwiches. So I made two rice balls.  
(この間約 4 秒)

繰り返します。

I didn't have bread to make some sandwiches. So I made two rice balls.  
(この間約 4 秒)

2番 I usually have a piano class on Tuesday, but it will be on Thursday next week.  
I can go to watch a soccer game next Tuesday.  
(この間約 4 秒)

繰り返します。

I usually have a piano class on Tuesday, but it will be on Thursday next week.  
I can go to watch a soccer game next Tuesday.  
(この間約 7 秒)

次の問題に移ります。ページをめくり、2ページに進んでください。  
(この間約 4 秒)

問題2, 太郎 (Taro) とサリー (Sally) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている  
順に進みます。空欄に入る発言として最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、  
その記号を解答用紙に書きなさい。会話の空欄のところでは、チャイム音 (チャイム音) が鳴ります。  
会話は、それぞれ2回放送されます。では、始めます。

1番 Taro: You're wearing a nice T-shirt.  
Sally: Thank you, Taro.  
Taro: Where did you get it?  
Sally: (チャイム音)  
(この間約 4 秒)

繰り返します。

Taro: You're wearing a nice T-shirt.  
Sally: Thank you, Taro.  
Taro: Where did you get it?  
Sally: (チャイム音)  
(この間約 4 秒)

2番 Taro: Hi, Sally. You look happy today.  
Sally: Actually, I have good news for us.  
Taro: What is it?  
Sally: (チャイム音)  
(この間約 4 秒)

繰り返します。

Taro: Hi, Sally. You look happy today.  
Sally: Actually, I have good news for us.  
Taro: What is it?  
Sally: (チャイム音)  
(この間約 7 秒)

次に問題3に移ります。聡太 (Sota) と留学生のジェーン (Jane) が会話をします。そのあとで会話について3つの質問をします。それらの質問に対する答えとして最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。はじめに会話、続いて質問の順で、2回放送されます。では、始めます。

Sota: Jane, guess what! I'm going to go to Australia this summer.  
Jane: That's nice!  
Sota: My sister is studying English in Sydney. My father and I are going to see her.  
Jane: I see. I hope you enjoy your stay.  
Sota: Thanks. I want to spend a lot of time with my sister there. Now I'm planning to go swimming in the sea with her.  
Jane: I think you shouldn't do that. It's so cold that you can't swim. It will be winter when you are in Sydney.  
Sota: Oh, that's too bad. I wanted to swim because Sydney is famous for its beautiful sea.  
Jane: Well, how about walking along the beach? You can enjoy talking with your sister and watching the beautiful sea. I think your father also wants to talk with your sister a lot.  
Sota: I like your idea! We can talk together and watch the beautiful sea at the same time. Thanks, Jane.

続いて質問に移ります。

- 1番 Why is Sota going to go to Sydney?  
(この間約 4 秒)
- 2番 What does Jane say about Sota's plan in Sydney?  
(この間約 4 秒)
- 3番 Why does Sota like Jane's idea?  
(この間約 7 秒)

会話を繰り返します。

*Sota:* Jane, guess what! I'm going to go to Australia this summer.  
*Jane:* That's nice!  
*Sota:* My sister is studying English in Sydney. My father and I are going to see her.  
*Jane:* I see. I hope you enjoy your stay.  
*Sota:* Thanks. I want to spend a lot of time with my sister there. Now I'm planning to go swimming in the sea with her.  
*Jane:* I think you shouldn't do that. It's so cold that you can't swim. It will be winter when you are in Sydney.  
*Sota:* Oh, that's too bad. I wanted to swim because Sydney is famous for its beautiful sea.  
*Jane:* Well, how about walking along the beach? You can enjoy talking with your sister and watching the beautiful sea. I think your father also wants to talk with your sister a lot.  
*Sota:* I like your idea! We can talk together and watch the beautiful sea at the same time. Thanks, Jane.

続いて質問に移ります。

- 1 番 Why is Sota going to go to Sydney?  
(この間約 4 秒)
- 2 番 What does Jane say about Sota's plan in Sydney?  
(この間約 4 秒)
- 3 番 Why does Sota like Jane's idea?  
(この間約 9 秒)

次に問題4に移ります。ジャック (Jack) と彩 (Aya) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進み、ジャックが彩に質問をします。彩になったつもりで、空欄に入る適切な発言を考えて、英語で解答用紙に書きなさい。会話の空欄のところでは、チャイム音 (チャイム音) が鳴ります。会話を2回放送したあとに、答えを記入する時間をとります。では、始めます。

*Jack:* Aya, it will be rainy tomorrow.  
*Aya:* Then I can't go to the mountain. I will stay home tomorrow.  
*Jack:* What are you going to do?  
*Aya:* (チャイム音)  
(この間約 3 秒)

繰り返します。

*Jack:* Aya, it will be rainy tomorrow.  
*Aya:* Then I can't go to the mountain. I will stay home tomorrow.  
*Jack:* What are you going to do?  
*Aya:* (チャイム音)  
(この間約 15 秒)

これで放送によるテストを終わります。次の問題に移ってください。

| 備考欄                                   | 配点 |     | 第一問                             |   |
|---------------------------------------|----|-----|---------------------------------|---|
|                                       | 25 |     |                                 |   |
|                                       | 3  | 問題1 | 1番                              | ウ |
|                                       | 3  |     | 2番                              | エ |
|                                       | 3  | 問題2 | 1番                              | ウ |
|                                       | 3  |     | 2番                              | イ |
|                                       | 3  |     | 1番                              | ア |
|                                       | 3  | 問題3 | 2番                              | ウ |
|                                       | 3  |     | 3番                              | エ |
| 配点は内容について2点、表記について2点とする。採点基準は各学校で定める。 | 4  | 問題4 | (例) I'm going to clean my room. |   |

| 備考欄 | 配点 |   | 第二問 |                   |
|-----|----|---|-----|-------------------|
|     | 20 |   |     |                   |
|     | 2  | 1 | (1) | エ                 |
|     | 2  |   | (2) | イ                 |
|     | 2  |   | (3) | ウ                 |
|     | 3  | 2 | (1) | (例) washed        |
|     | 3  |   | (2) | (例) example       |
|     | 4  | 3 | (1) | エ → イ → ア → ウ     |
|     | 4  |   | (2) | イ → オ → エ → ア → ウ |

| 備考欄 | 配点 |   | 第四問   |   |
|-----|----|---|---|---|
|     | 26 |   |   |   |
|     | 2  | 1 | イ   |   |
|     | 4  | 2 | (例) 地元の農家の野菜を使用することで、お客さんのためにおいしい料理を作ることができるから。 |   |
|     | 4  | 1 | (1)   | (例) Because she likes to make things with her hands.                  |
|     | 4  |   | (2)   | (例) She found that she was speaking too fast and her voice was small. |
|     | 3  | 4 | (1)   | ウ   |
|     | 3  |   | (2)   | イ   |
|     | 3  |   | (3)   | イ   |
|     | 3  |   | (4)   | エ   |

| 備考欄 | 配点 |   | 第三問  |  |
|-----|----|---|--|--|
|     | 18 |   |  |  |
|     | 4  | 1 | (例) 友美はとても緊張していたから。  |  |
|     | 4  | 2 | (例) He wanted her to write about her feelings in a notebook. |  |
|     | 3  | 3 | エ  |  |
|     | 4  | 4 | オ → エ → イ → ウ → ア  |  |
|     | 3  | 5 | what I should do   |  |

| 備考欄                                   | 配点 |   | 第五問   |  |
|---------------------------------------|----|---|---|--|
|                                       | 11 |   |   |  |
|                                       | 3  | 1 | (例) What does she like?   |  |
| 配点は内容について5点、表記について3点とする。採点基準は各学校で定める。 | 8  | 2 | (例) I want to sing some Japanese songs for her because she studies Japanese. She can learn some Japanese words in the songs. I hope she will enjoy the party. |  |

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

**1 出題のねらいと内容**

「言葉の特徴や使い方」、「情報の扱い方」及び「我が国の言語文化」に関する知識・技能並びに「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の思考力・判断力・表現力等を活用し、国語で正確に理解し適切に表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、基礎的な漢字を読む力や書く力、四字熟語や打ち消しの接頭語についての知識をみようとした。また、校内放送のリハーサルなどを素材とし、言葉についての知識と聞き手を意識した話し方の工夫など、話す力をみようとした。

第二問では、漫画家としての生活を諦めた主人公が、これからの生活に再び希望を抱くようになる場面を描いた文章を素材とし、叙述に基づいて、登場人物の心情や表現の効果

などを豊かに読み取り、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、読むことと書くことの間接的な関係、呼吸のありようになぞらえて述べた文章を素材とし、叙述に基づいて、書き手のものの見方や考え方を的確に捉え、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、「貞観政要」を素材とし、古典の基礎的な事項の知識を基に、内容を把握する力及び古人のものの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

第五問では、指示語を選んで俳句を創作し、その句で表現することができる情景や心情を書くことによって、豊かに発想する力及び自分の考えを適切に表現する力をみようとした。

**2 結果の考察**

＜第一問＞言語事項及び話すこと・聞くことの知識・理解

言葉についての理解を深め、適切に使う力に課題

問一 漢字の読み書きの問題。読みでは、文学的な文章で見られる③「陶醉」の正答率が、小問全体では最も低い58.0%であった。書きでは、④「敬う」は無答率が16.8%であった。生活の中で使用する語彙の乏しさや、漢字の音訓や用法についての正確な理解に課題がみられる。漢字の意味を考えさせたり、文脈に即して適切な漢字や熟語を選ばせたりする指導を心掛け、語彙を豊かにしていきたい。

問二 四字熟語に用いられる漢字を選択する問題。②「大器晩成」については正答率が58.0%で、特にc層の正答率が低くなった。誤答

の約80%は「万」を選択していたが、四字熟語の基になった故事についての知識・理解が不十分であるため、問題文から連想されるものを当てはめようとしたことがうかがえる。四字熟語については、その組立てや語源を探ったり、「話すこと」や「書くこと」の言語活動で、四字熟語を活用する学習を取り入れたりして、言葉への興味・関心を高め、言語生活を豊かにする指導を心掛けたい。

＜第二問＞文学的な文章の読解

叙述に基づいて的確に内容を捉える力、表現に着目し人物の心情を捉える力に課題

問二 会話の内容を、叙述に基づいて的確に読み取る問題。登場人物が語る「夢」の内容を、的確に捉えられていない解答が多く見ら

れた。登場人物の心情や考えを文章から見付けさせるなど、叙述に基づいて的確に内容を把握する力を養う必要がある。

**問四** 登場人物の心情の変化を読み取り、適切に表現する問題。文章中の「風を待つ」などの比喩表現に着目して、それらが表している内容を捉え、会話や情景描写から推察される心情を適切に説明することができている解答は少なかった。言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、登場人物の言動や、情景描写に表現されている心情を読み取る力を養う必要がある。表現の効果を踏まえて、登場人物の行動や心情の変化について考えたことを、根拠を挙げて伝え合う活動を取り入れるなど、叙述に基づいて心情を豊かに読み取るための指導に留意したい。

#### <第三問> 説明的な文章の読解

文章の構造を踏まえて内容を理解する力、論理の展開を捉え、筆者の中心的主張を適切に表現する力に課題

**問三(二)** 文章中の表現が指し示す内容を的確に捉える問題。引用と、それを踏まえて筆者が述べていることとの関係を捉えて、必要な情報を取り出して、内容を理解する力に課題がみられる。文章の構造に注意して情報を整理させるなど、内容を的確に捉えるための指導を工夫したい。

**問五** 文章全体の内容を踏まえて、筆者の中心的主張を説明する問題。本文は、「対話」を「呼吸」になぞらえて説明し、対話的に行われる「読む」ことについて、筆者の中心的主張に迫っていくという展開であるが、論理の展開が捉えられず、「対話」だけに言及しているものや、「呼吸」と関連付けて答えていないものも多く見られた。段落ごとに内容をまとめたり、段落相互の関係を押さえたり

するなど、文章全体の中での各段落の役割を理解することで、筆者の中心的主張を的確に捉え、適切に表現する力の育成を図りたい。

#### <第四問> 漢文の知識・理解

漢文に表れたものの見方や考え方を捉える力に課題

**問三(一)** 漢文の内容を捉え、適切に表現する問題。正答率は14.5%であった。本文は冒頭にたとえ話を用いることによって、国の統治のあり方、君主のあるべき姿について論じているが、たとえ話と筆者の主張を混同して解答しているものや、「本根」に対応するものを、明確に示さずに解答しているものなどが多かった。現代語訳や語注を手掛かりにして作品を読み、描かれている場面を想像することで、作品に表れた古人のものの見方や考え方に触れるように指導したい。

#### <第五問> 目的に応じて適切に書くこと

伝えたいことについて表現を工夫して書く力に課題

選んだ指示語の働きを踏まえて、俳句全体で表現できると考えた情景や心情について書く問題。選んだ指示語を用いることによって描写される情景や心情が、読み手にどのように伝わるか想像できず、適切に表現できていない文章が多く見られた。「書くこと」の指導においては、表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえて、自分の文章の良い点や改善点を見いだして推敲する活動を取り入れるなど、書いた文章全体を俯瞰し、自分の思いや考えが読み手に分かりやすく伝わる表現となるよう、文章を整える力を身に付けさせたい。

| 問題              |                 |                  | 正答率 → | ← 無答率                         | 得点率                           | 調査書総点別得点率<br>(a:135~111点 b:110~88点 c:87~44点) |
|-----------------|-----------------|------------------|-------|-------------------------------|-------------------------------|--|
| 第一問             | 問一              | ① 記述 漢字(読み)      | 99.5% | 0.0%                          | 99.5%                         | a:100.0%<br>b:100.0%<br>c:98.6%              |
|                 |                 | ② 記述 漢字(読み)      | 77.5% | 0.5%                          | 77.5%                         | a:92.2%<br>b:75.9%<br>c:67.4%                |
|                 |                 | ③ 記述 漢字(読み)      | 58.0% | 5.0%                          | 58.0%                         | a:81.9%<br>b:62.3%<br>c:33.3%                |
|                 |                 | ④ 記述 漢字(書き)      | 69.5% | 16.8%                         | 69.5%                         | a:89.7%<br>b:74.7%<br>c:47.1%                |
|                 |                 | ⑤ 記述 漢字(書き)      | 81.8% | 5.5%                          | 81.8%                         | a:99.1%<br>b:91.1%<br>c:62.3%                |
|                 |                 | ⑥ 記述 漢字(書き)      | 58.3% | 13.8%                         | 58.3%                         | a:88.8%<br>b:63.0%<br>c:27.5%                |
| 第二問             | 問二              | ① 多肢選択 漢字(四字熟語)  | 89.8% | 0.5%                          | 89.9%                         | a:94.8%<br>b:88.7%<br>c:87.0%                |
|                 |                 | ② 多肢選択 漢字(四字熟語)  | 58.0% | 0.0%                          | 58.0%                         | a:83.6%<br>b:58.9%<br>c:35.5%                |
|                 | 問三 多肢選択 漢字(接頭語) | 97.5%            | 0.0%  | 97.5%                         | a:99.1%<br>b:99.3%<br>c:94.2% |  |
|                 | 問四              | (一) 記述 主述のねじれ    | 62.8% | 2.8%                          | 64.8%                         | a:85.3%<br>b:69.9%<br>c:42.0%                |
|                 |                 | (二) 多肢選択 話し方の工夫  | 86.0% | 0.3%                          | 86.0%                         | a:98.9%<br>b:84.9%<br>c:76.8%                |
| (三) 多肢選択 話し方の工夫 |                 | 90.0%            | 0.0%  | 90.0%                         | a:95.7%<br>b:93.2%<br>c:81.9% |  |
| (四) 多肢選択 発言の意図  |                 | 80.5%            | 0.0%  | 80.5%                         | a:91.4%<br>b:84.8%<br>c:67.4% |  |
| (五) 記述 話し方の工夫   | 15.3%           | 13.3%            | 23.9% | a:37.7%<br>b:25.3%<br>c:10.7% |                               |  |
| 第三問             | 問一 多肢選択 内容把握    | 79.8%            | 0.3%  | 79.8%                         | a:94.0%<br>b:83.6%<br>c:63.8% |  |
|                 | 問二 記述 心情把握      | 12.0%            | 3.5%  | 32.8%                         | a:49.1%<br>b:36.1%<br>c:20.5% |  |
|                 | 問三              | (一) 抜き出し 内容把握    | 66.3% | 1.5%                          | 69.5%                         | a:88.8%<br>b:73.3%<br>c:49.3%                |
|                 |                 | (二) 多肢選択 内容把握    | 68.8% | 0.0%                          | 68.8%                         | a:85.3%<br>b:71.5%<br>c:52.2%                |
|                 | 問四 記述 心情把握      | 2.5%             | 12.0% | 26.3%                         | a:37.2%<br>b:26.4%<br>c:17.0% |  |
|                 | 問五 多肢選択 表現効果の理解 | 71.0%            | 1.0%  | 71.0%                         | a:87.1%<br>b:73.3%<br>c:55.1% |  |
| 第四問             | 問一 多肢選択 内容把握    | 63.0%            | 0.5%  | 63.0%                         | a:67.2%<br>b:61.6%<br>c:60.9% |  |
|                 | 問二 記述 内容把握      | 24.5%            | 7.8%  | 43.1%                         | a:57.5%<br>b:47.1%<br>c:26.6% |  |
|                 | 問三              | (一) 抜き出し 内容把握    | 56.3% | 27.0%                         | 56.8%                         | a:82.8%<br>b:62.8%<br>c:28.5%                |
|                 |                 | (二) 多肢選択 内容把握    | 31.5% | 2.3%                          | 31.5%                         | a:55.2%<br>b:28.8%<br>c:14.5%                |
|                 | 問四 多肢選択 内容把握    | 48.8%            | 2.3%  | 48.8%                         | a:62.1%<br>b:51.4%<br>c:34.8% |  |
|                 | 問五 記述 内容把握      | 2.5%             | 39.0% | 14.0%                         | a:23.6%<br>b:15.3%<br>c:4.4%  |  |
| 第五問             | 問一 記述 返り点       | 75.3%            | 6.8%  | 75.3%                         | a:96.6%<br>b:86.3%<br>c:45.7% |  |
|                 | 問二 多肢選択 内容把握    | 62.8%            | 2.8%  | 62.8%                         | a:81.9%<br>b:62.3%<br>c:47.1% |  |
|                 | 問三              | (一) 記述 内容把握      | 14.5% | 15.5%                         | 33.9%                         | a:50.0%<br>b:36.1%<br>c:18.1%                |
|                 |                 | (二) 多肢選択 文章構成の理解 | 60.3% | 5.5%                          | 60.3%                         | a:78.5%<br>b:70.6%<br>c:34.3%                |
| 第五問 論述 説明文      | 2.0%            | 1.0%             | 55.7% | a:68.6%<br>b:69.0%<br>c:40.5% |                               |  |
| 計               |                 |                  |       |                               | 56.6%                         | a:70.8%<br>b:59.6%<br>c:41.5%                |

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合





|     |  |              |                           |    |     |    |    |
|-----|--|--------------|---------------------------|----|-----|----|----|
| 備考欄 |  |              |                           |    |     | 20 | 配点 |
| 3   | 5  | 3            | 2                         | 4  | 3   |    |    |
| 問五  | 問四   | 問三<br>(二)(一) | 問二                        | 問一 | 第二問 |    |    |
| ウ   | (例) 漫画家としての人生を諦めず、よい機会が来るのを待ちながら、自分のペースで漫画を描いていこうという気持ち。<br>(五十二字) | イ<br>俺の漫画家   | (例) 描きたい漫画を描いて人気を得る。(十五字) | エ  |     |    |    |

|   |   |   |   |    |    |    |          |   |   |   |   |   |     |        |      |        |     |     |  |
|---|---|---|---|----|----|----|----------|---|---|---|---|---|-----|--------|------|--------|-----|-----|--|
| 備考欄   |   |   |   |    |    |    |          |   |   |   |   |   | 30  | 配点     |      |        |     |     |  |
| 4   | 2 | 2 | 2 | 2  | 2  | 2  | 2        | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |     |        |      |        |     |     |  |
| 問四<br>(五)(四)(三)(二)(一)                       |   |   |   | 問三 | 問二 | 問一 |          |   |   |   |   |   | 第一問 |        |      |        |     |     |  |
| (例) 「習慣」という語を、同音の「週間」と誤解する恐れがあるから。<br>(三十字) |   |   |   | エ  | イ  | ア  | (例) 実施する | エ | ア | ウ | ② | ① | ⑥   | ⑤      | ④    | ③      | ②   | ①   |  |
|   |   |   |   |    |    |    |          |   |   |   |   |   | 推測  | ハッセイ反省 | ウヤマ敬 | とうすい陶酔 | ひそ潜 | にぎ握 |  |
|   |   |   |   |    |    |    |          |   |   |   |   |   |     |        |      |        |     |     |  |

|   |  |  |  |  |  |    |    |
|---|--|--|--|--|--|----|----|
| 採点の基準等  |  |  |  |  |  | 20 | 配点 |
| 第五問   |  |  |  |  |  |    |    |
| <p>△採点の基準▽</p> <p>1 内容及び表現について 15点<br/>選んだ指示語を踏まえ、句全体で表現できると考えた情景や心情が、適切に説明されているか。</p> <p>2 表記について 5点<br/>(1) 誤字や脱字はないか。<br/>(2) 仮名遣いや送り仮名は正しいか。<br/>(3) 漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。<br/>(4) 句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。<br/>(5) 原稿用紙の使い方は正しいか。</p> <p>△留意事項▽</p> <p>採点は、前記の△採点の基準▽1、2によることとするが、次の点についても留意すること。<br/>(1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。<br/>(2) 表記の誤りについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。</p> |  |  |  |  |  |    |    |

|              |                     |    |  |     |  |    |    |
|--------------|---------------------|----|--|-----|--|----|----|
| 備考欄          |                     |    |  |     |  | 10 | 配点 |
| 3            | 3                   | 2  | 2  | 第四問 |  |    |    |
| 問三<br>(二)(一) | 問二                  | 問一 | 第四問  |     |  |    |    |
| イ            | (例) 君主が心清らかである。(十字) | ウ  | 夫 <sub>レ</sub> 治 <sub>レ</sub> 国 <sub>ヲ</sub> |     |  |    |    |

|  |    |              |    |    |     |    |             |                                  |   |  |
|--|----|--------------|----|----|-----|----|-------------|----------------------------------|---|--|
| 備考欄  |    |              |    |    |     | 20 | 配点          |                                  |   |  |
| 5  | 3  | 2            | 3  | 4  | 3   |    |             |                                  |   |  |
| 問五   | 問四 | 問三<br>(二)(一) | 問二 | 問一 | 第三問 |    |             |                                  |   |  |
| <p>(例) 呼吸における吸うことと吐くことの間係と同様に、読むためには書くこと、書くためには読むことが必要だということ。<br/>(五十四字)</p> |    |              |    |    | ウ   | エ  | 自らの内面で生じたこと | (例) 相手の「おもい」を受け止める必要がある<br>(十九字) | ア |  |

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

第四問 次の【漢文】と、その【書き下し文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で  
掲載していません。

〔貞観政要〕による

\*をつけた語句のへ注  
君——君主。  
百姓——人民。

問一 【書き下し文】を参考にして、【漢文】中の「夫治国」に返り点を付けなさい。

問二 【漢文】中に「本根不揺、則枝葉茂盛」とありますが、「本根」と「枝葉」について、【漢文】中の語で、それぞれが対応しているものの組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |          |          |
|---|----------|----------|
| ア | 「本根」……君  | 「枝葉」……樹  |
| イ | 「本根」……百姓 | 「枝葉」……君  |
| ウ | 「本根」……君  | 「枝葉」……百姓 |
| エ | 「本根」……百姓 | 「枝葉」……国  |

問三 次の対話は、【漢文】について話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

〈Xさん〉 【漢文】の最後にある「何ぞ安楽ならざるを得んや」という表現から、「いや、安楽とならぬはずがない」という考えが読み取れるよ。つまり、【漢文】で筆者は、国を統治するにあたっては、 A  ことが大切だと述べているね。  
〈Yさん〉 うん。そして、そのようなことを述べている、【漢文】の論の進め方の特徴は、「 B  」と説明できるよ。

- (一)  A  に入る適切な表現を考えて、十字以内で答えなさい。  
(二)  B  にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 二つのものを対比して、それぞれの良いところを分析している  
イ たとえ話をを用いることよって、主張に説得力を持たせている  
ウ 話題を急に転換することよって、読者の注意を引きつけている  
エ 中心的な主張を述べた後に根拠を示して、論理を明確にしている

第五問

次の【創作している俳句】について、 に指示語を入れて、この俳句を完成させるとしたら、あなたは【言葉の候補】の中の、どの指示語を選びますか。あとのア～ウから一つ選び、その記号を解答用紙の所定の欄に書き入れ、その指示語を用いることよって、句全体でどのような情景や心情を表現できると考えたのかを、百六十字～二百字で書きなさい。

【創作している俳句】

見渡せば春の訪れ  がある

【言葉の候補】

- ア ここ　　イ そこ　　ウ どこ

問一 本文中に「奇妙なもので、」とありますが、筆者がこのように述べる理由を説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 会話とは、誰かと言葉を交わすことであるにもかかわらず、互いが一方的に話してもどうにか成り立つものであるから。
- イ 会話は、互いが一方的に話してもどうにか成り立つにもかかわらず、話し手と聞き手が必要だと考えられているから。
- ウ 会話とは、互いが一方的に話してもどうにか成り立つものであるにもかかわらず、独話とは異なると思われるから。
- エ 考えが浅いままの独話はすぐに行き詰まるにもかかわらず、会話ならば、互いが一方的に話してもどうにか成り立つから。

問二 本文中に「こうしたことをどんなに繰り返しても、けっして対話にはならない。」とありますが、次の文は、「対話」と「会話」について、筆者の考えを説明したものです。□にあてはまる適切な表現を考えて、二十字以内で答えなさい。

「対話」は、他者と言葉を交わすという点では「会話」と共通するが、□という点で、「会話」とは異なるのである。

問三 本文中に「読む」という営みも対話的に行われなくてはならない、」とありますが、次の文は、「読む」という営みについて、筆者の考えを説明したものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

対話的に行う「読む」という営みは、書物から読み取ったことを踏まえて、□Aを、「書く」という方法を用いて、□Bに語りかけることによって成り立つのである。

(一) □Aにあてはまる言葉を、本文中から十二字でそのまま抜き出して答えなさい。

(二) □Bにあてはまる言葉として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア その書物に登場する人
- イ その書物を読んだ人
- ウ その書物を読んではない人
- エ その書物を著した人

問四 本文中に「読む」は言葉を吸うこと、そして「書く」は吐くことに似ている。」とありますが、筆者がこのように述べるのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「読む」によって必要な言葉を「からだ」に取り込めば、「書く」によって不要な言葉が「からだ」から排出されると考えられるから。
- イ 「読む」によって多くの言葉を「あたま」に取り込めば、「書く」ときに多くの言葉が使えようになると考えられるから。
- ウ 「読む」とは言葉を「からだ」に取り込むことであり、「書く」とは言葉を「からだ」から送り出すことであると捉えることができるから。
- エ 「読む」とは言葉を「あたま」に取り込むことであり、「書く」とは身体を使って言葉を送り出すことであると捉えることができるから。

問五 本文を通して、筆者が最も主張したいことはどのようなことですか。呼吸のありように触れながら、五十五字以内で説明しなさい。

## 著作権の関係で 掲載していません。

## 著作権の関係で 掲載していません。

\*をつけた語句のへ注▽

袋小路——ここでは、物事が行き詰まった状態のこと。

デカルト——十七世紀に活躍したフランスの哲学者。

生起——ある物事が現れ起こること。

功を奏さない——成功しない。うまくいかない。

有機的——多くの部分が結びついて全体をつくり、互いに関

連・影響し合いながらまとまっているさま。

素樸——素朴。

(若松 英輔「読書のちから」による)

著作権の関係で  
掲載していません。

(村山 早紀「風の港」による)

\*をつけた語句のへ注▽

つて—— 自分の希望などを実現するための手がかり。  
あの料亭の漫画—— かつて亮二が描いていた漫画作品。  
茶化す—— まじめな話を冗談のようになってしまう。  
成仏—— ここでは、未練がなくなり、満足すること。

問一 本文中に「俺も、故郷に帰ったら、似顔絵に挑戦してみようかな」とありますが、亮二がこのように言ったのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア これまでの生き方を語る老紳士の話を聞いて、似顔絵を描くことが自分の天職であると気づいたから。
- イ 似顔絵を描く楽しさはわかるような気がするが、似顔絵を描くことを仕事にするのは不安なので、よく考えようと思ったから。
- ウ 似顔絵を描くことを仕事にすることにまだ迷いはあるが、ためらっていても仕方がないので、早く決断すべきだと気づいたから。
- エ 老紳士の話に共感するとともに、似顔絵であれば、自分にも描けるのではないだろうかと思ったから。

問二 本文中に「亮二は口ごもった。」とありますが、次の文は、このときの亮二の心情について説明したものです。□にあてはまる適切な表現を考えて、十五字以内で答えなさい。

老紳士が言うことはもつともだと思いが、漫画家の仕事を続けたとしても、□ことは難しいと考えており、どう返答するか迷った。

問三 本文中に「老紳士は楽しげに笑う。笑っていない目で。」とありますが、次の対話は、このことについて話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

〈Xさん〉 これは、亮二が「A」と言ったことを受けて、老紳士が、人生を連載漫画にたとえて話したときの様子だよな。  
〈Yさん〉 「楽しげに笑う」から、老紳士の明るい表情が想像できるよ。  
〈Xさん〉 そうだね。ただ、それと矛盾するような「笑っていない目で」は重要だよ。何か老紳士の思いのようなものが感じられるね。  
〈Yさん〉 うん。老紳士の、B がにじみ出ているようだね。

(一) □ A にあてはまる表現を、本文中から二十字でそのまま抜き出して、はじめの五字で答えなさい。

(二) □ B に入る表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 隠していた自分の本心を知られることを恐れる気持ち
- イ 何とかして自分の考えを伝えたいという真剣な気持ち
- ウ 自分の思いを理解してもらえないことを悲しむ気持ち
- エ 自分の発言を客観的に見つめようという冷静な気持ち

問四 本文中に「そっか、何度飛び立ってもいいんだな」とありますが、このときの亮二の気持ちを、五十五字以内で説明しなさい。

問五 本文中の□線部の表現について説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「仙人のような、予言者のような、そんなまなざし」という直喩によって、目に見えることが確かな事実であることを印象づけている。
- イ 「ふらふら」という擬態語によって、具体的な説明が難しいような状態を伝え、読み手の興味を引き出している。
- ウ 「空港のあちこちに飾られた桜の花の造花が、美しく見えた。」という描写によって、登場人物の心情を暗示している。
- エ 「いくつもの翼が、空を目指し、陸へと降りてきていた。翼に灯りを灯して。」という倒置の技法によって、情報の正しさを強調している。

著作権の関係で  
掲載しておりません。

---

著作権の関係で  
掲載しておりません。

(一) 【放送のリハーサル】の中に「読書週間の活動は、図書委員会が、二週間にわたって実施されるものです。」とありますが、適切な表現になるように、「実施される」の部分を、**五字以内**で直しなさい。

(二) 【話し合いの一部】の中に「聞き手が理解しやすくなるような話し方の工夫」とありますが、その工夫として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「今回の企画は、次の三つです。」と、企画がいくつあるのかを述べる。

イ 「今回の企画は、いくつあると思いますか。」と、質問を投げかける。

ウ 「今回の企画は、皆さんが楽しめるものばかりです。」と、企画のよさを訴える。

エ 「今回の企画は、生徒全員が参加できます。」と、企画の対象を明確にする。

(三) 【話し合いの一部】の中に「**③**間の取り方を工夫」とありますが、「先生がおすすめる一冊」というテーマの特集記事を掲載します。」という部分を、「**／**」で示すところの間を取って話したとき、伝えたい内容が正確に伝わるような間の取り方として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 先生がおすすめる／一冊というテーマの特集記事を掲載します。

イ 先生がおすすめる一冊／というテーマの特集記事を掲載します。

ウ 先生がおすすめる一冊という／テーマの特集記事を掲載します。

エ 先生がおすすめる一冊というテーマの特集記事を／掲載します。

(四) 【話し合いの一部】の中の「**④**企画について述べた後の、」で始まるBさんの発言の意図として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア Aさんのリハーサルを聞いて、その後の話し合いが深まるように質問を工夫し、Aさんの人柄を理解しようとした。

イ Aさんのリハーサルを聞いて、実際に放送を聞く生徒から出そうな質問を予想し、その質問にAさんが戸惑わないようにした。

ウ Aさんのリハーサルを聞いて、興味を覚えたことについて質問し、Aさんが話し合いをうまく進められるようにした。

エ Aさんのリハーサルを聞いて、自分が気になった点を質問することによって、Aさんの考えや思いを引き出そうとした。

(五) 【話し合いの一部】の中に「**⑤**放送は音声だけで伝えることを考慮すると、『読書習慣』という部分は、別の表現にするとよい」とありますが、Cさんがこのように言うのはなぜですか。三十文字以内で答えなさい。

問四 Aさんの中学校では、まもなく始まる読書週間の活動内容を全校生徒

に知らせるため、図書委員が校内放送をすることになりました。そこで、図書委員のAさんは、事前に放送のリハーサルを行い、そのリハーサルを、図書委員のBさん、Cさんに聞いてもらいました。次は、Aさんが行った【放送のリハーサル】と、その後の、三人による【話し合いの一部】です。あとの(一)～(五)の問いに答えなさい。

【放送のリハーサル】

皆さん、こんにちは。図書委員会からのお知らせです。

来週から春の読書週間が始まります。読書週間の活動は、図書委員会

が、二週間にわたって実施されるものです。皆さんに、たくさんの本を

読んでもらえるよう、私たちはさまざまな企画を考えました。

一つ目は、特製しおりのプレゼントです。読書週間に四冊以上の本を借りた人には、図書委員が作ったオリジナルのしおりを差し上げます。

二つ目は、多読クラスの表彰です。読書週間内の貸し出し冊数をクラスごとに集計し、冊数が最も多いクラスを表彰します。

三つ目は、「図書室だより特別号」の発行です。特別号では、新たな試みとして、「先生がおすすめる一冊」というテーマの特集記事を掲載します。この記事で紹介する本は、すべて図書室にあるので、ぜひ読んでみてください。

なお、読書週間の期間中、本の貸し出しは、一回につき、一人五冊までとします。

今回の活動をきっかけにして、これまであまり本を読まなかった人にも、読書習慣を身につけてもらえたらうれしいです。

以上、図書委員会からのお知らせでした。

【話し合いの一部】

〈Aさん〉 放送のリハーサルを聞いて、何か意見はあるかな。

〈Bさん〉 企画が複数あるので、企画の内容を具体的に紹介する前に一言を加えて、情報を整理することによって、こちらが伝えたいことを、聞き手が理解しやすくなるような話し方の工夫をしてはどうかな。

〈Aさん〉 なるほど。聞き手が理解しやすくなるよう、情報を整理して話すことは大切だね。Cさんは、何か気づいたことがあるかな。

〈Cさん〉 三つ目の企画のところ、「先生がおすすめる一冊」というテーマの特集記事を掲載します。」と書いていたけれど、ひと息で話すと、伝えたい内容を正確に理解してもらえない恐れがあるから、聞き手に、伝えたい内容が正確に伝わるように、

③ 間の取り方を工夫してはどうだろう。

〈Aさん〉 分かった。もう少し、間の取り方を工夫してみよう。

〈Bさん〉 企画について述べた後の、「なお、読書週間の期間中、本の貸し出しは、一回につき、一人五冊までとします。」という部分から、普段借ることができるとは異なるかと伝わりそうだけれど、少し唐突な感じがするよ。このような言い方をした

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



令和4年度  
公立高等学校入学者選抜学力検査問題

国語

第一問 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部①～⑥のうち、漢字の部分はその読み方をひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に改めなさい。

・ ハンドルを握る。①

・ 水底に魚が潜む。②

・ すばらしい演奏に陶醉する。③

・ お年寄りをウヤマウ。④

・ 前の試合のハンセイを生かす。⑤

・ 結果から原因をスイソクする。⑥

問二 次の文の——線部①、②のカタカナを漢字に改めたものとして、正しいものを、それぞれあとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

・ 一石ニチヨウの効果を狙う。①

ア 兆      イ 丁      ウ 鳥      エ 頂

・ 彼はまさに大器バンセイの人物だ。②

ア 晩      イ 判      ウ 板      エ 万

問三 次の□に共通して入る語を、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

・ □許可      ・ □作為      ・ □頓着

ア 未      イ 非      ウ 不      エ 無



